

注3

大学番号：私078

[平成30年度設置]

計画の区分： 通信教育の開設

注1

認可

創価大学 文学部 人間学科（通信教育課程）

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人創価大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

通信教育部教務課

カチョウ オザワ ジョウ
課長 小澤 潤

電話番号 042-691-3451

(夜間) 042-691-3451

F A X 042-691-9307

e-mail ozawa@soka.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

文学部

<人間学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 創価大学

(2) 大学名

創価大学

(3) 大学の位置

〒192-8577
東京都八王子市丹木町1丁目236番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	タシロ ヤスノリ 田代 康則 <平成16年4月>		
学長	ハバ ヨシヒサ 馬場 善久 <平成25年4月>		
学部長	アサヤマ リュウイチ 浅山 龍一 <平成26年4月>		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)
令和元年度に報告する内容 → (元)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
文学部 人間学科 学士(文学)	文学関係	4年	750人	3年次 100人	3,200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	750人 (100) [-]	750人 (100) [-]	750人 (100) [-]	750人 (100) [-]	0.48倍	倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	600 (-) [-]	- (-) [-]	189 (-) [-]	- (-) [-]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	592 (-) [-]	- (-) [-]	185 (-) [-]	- (-) [-]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	592 (-) [-]	- (-) [-]	185 (-) [-]	- (-) [-]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	559 (-) [-]	- (-) [-]	169 (-) [-]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A							0.74		0.22				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	559 (—)	— (—)	169 (—)	— (—)	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	— (—)	— (—)	546 (—)	— (—)	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] (—)	— (—)	— (—)	— (—)
4年次	/				[] ()	[] ()	[] (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	559 (—)	— (—)	715 (—)	— (—)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	559 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	715 人	47 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	47 人	0 人	経済的理由(20人)、学生個人の心身に関する事情(9人)、勤務上の理由(2人)、家庭の事情(3人)、他の教育機関への入学・転学(4人)、その他(9人)
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		47 人		47 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{559} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{47}{715} = \boxed{6.57} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<文学部 人間学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	人間教育論	1通		2		4						8
	創価教育論	1通		2		1		1				7
	自立学習入門	1通	2			1						10
(英語科目)	英語ⅠA	1通	2			1						2
	英語ⅠB	1通	2			1						8
	英語ⅡA	2通		2								2
	英語ⅡB	2通		2								5
言語科目(第2外国語)	英会話Ⅰ	2通		2								6
	英会話Ⅱ	2通		2								6
	ドイツ語A	2通		2		1						1
	ドイツ語B	2通		2		1						1
	フランス語A	2通		2								2
	フランス語B	2通		2								2
	中国語Ⅰ	2通		2		1						2
	中国語Ⅱ	2通		2		1						2
	スペイン語A	2通		2		1						1
	スペイン語B	2通		2		1						1
健康・体育科目(その他)	体育講義B	1通		2								2
	体育講義C	1通		2								1
人文・芸術・思想科目(人文分野科目)	文学A	1通		2								1
	文学B	1通		2		1						1
	哲学	1通		4				1				1
	音楽	2通		4								2
	美術	2通		4								2
	倫理学	2通		4		1						1
社会・文化・生活科目(社会分野科目)	歴史	2通		4		1						2
	法学概説	1通		2								1
	日本国憲法	1通		2								2
	経済学	1通		4								3
	経営学入門	1通		4								1
	心理学	1通		4								3
	社会学Ⅰ	2通		2								2
	社会学Ⅱ	2通		2		1						1
政治学	2通		4								2	
教育学	2通		2								2	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	人間教育論	1通		2		4						8
	創価教育論	1通		2		1		1				6
	自立学習入門	1通	2						1			9
(英語科目)	英語ⅠA	1通	2			1						2
	英語ⅠB	1通	2			1						7
	英語ⅡA	2通		2								2
	英語ⅡB	2通		2								4
言語科目(第2外国語)	英会話Ⅰ	2通		2								6
	英会話Ⅱ	2通		2								4
	ドイツ語A	2通		2				1				1
	ドイツ語B	2通		2				1				1
	フランス語A	2通		2								2
	フランス語B	2通		2								2
	中国語Ⅰ	2通		2				1				2
	中国語Ⅱ	2通		2				1				1
	スペイン語A	2通		2				1				1
	スペイン語B	2通		2				1				1
健康・体育科目(その他)	体育講義B	1通		2								1
	体育講義C	1通		2								1
人文・芸術・思想科目(人文分野科目)	文学A	1通		2								1
	文学B	1通		2				1				1
	哲学	1通		4					1			1
	音楽	2通		4								2
	美術	2通		4								2
	倫理学	2通		4		1						1
社会・文化・生活科目(社会分野科目)	歴史	2通		4		1						3
	法学概説	1通		2								1
	日本国憲法	1通		2								3
	経済学	1通		4								3
	経営学入門	1通		4								1
	心理学	1通		4								3
	社会学Ⅰ	2通		2								2
	社会学Ⅱ	2通		2				1				1
政治学	2通		4								2	
教育学	2通		2								2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	自然・数理・情報科目 (自然分野科目)	数学基礎	1	4							2	
		統計学入門	1	4							6	
		情報科学(情報と社会)	1	2							1	
		生命科学	1	2							1	
		コンピュータ・リテラシー	2	2							4	
		プログラミング	2	2							4	
		環境科学	2	2							2	
		平和・人権・世界科目 (その他)	総合科目A	1	2							1
			平和学入門	1	2		1					
	共通総合演習		1	2							5	
	総合科目B		2	2							1	
	地域研究A	2	2								1	
		地域研究B	2	2		1						
地域研究C		2	2							1		
小計(51科目)		-	6	118	0	8	2	1	0	0	82	
専門科目	イントロダクトリー科目	人間学	1	2		3		1				
		異文化コミュニケーション入門	1	2							1	
		哲学・思想への招待	1	2		1					1	
		世界文学への招待	1	2		6	1				1	
		表現文化論入門	1	2		2	1				1	
		歴史学への招待	1	2		1	1				1	
		現代社会研究への招待	1	2		3	1					
	ベーシック科目	社会福祉論	1	2			1					
		日本語教育概論	1	4							2	
		仏教思想概論	1	2							1	
		西洋哲学史 I	1	2							1	
		哲学概論	1	2				1				
		文学研究法入門 I	1	2		2	1				1	
		文学研究法入門 II	1	2			1				1	
		ロシア文学入門	1	2			1					
		日本文学概論	1	2		1						
		日本語学概論 I	1	2		1						
		日本語学概論 II	1	2		1						
		比較文化 I	1	2		1						
		比較文化 II	1	2		1						
		歴史学概論	1	2							1	
比較文化史概論	1	2		1								
考古学概論	1	2							1			
現代ロシア概論	1	2		1								
国際関係論	1	2		1								
社会調査の基礎	1	2							1			
社会学概論	1	2							1			
文化人類学	1	2		1								
日本語コミュニケーション論	2	2		1					1			
対照言語学	2	2							1			
日本語音声学	2	2							1			
倫理学概論	2	2		1					1			
日本思想史 I	2	2							1			
イギリス古典文学史	2	2		1								
イギリス近代文学史	2	2		1								
アメリカ文学史	2	2		1								
演劇入門	2	2		1								
ロシアの歴史と文化	2	2		1								
東欧の歴史と文化	2	2							1			
映画論	2	2							1			
日本文学史	2	2							1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	自然・数理・情報科目 (自然分野科目)	数学基礎	1	4							2	
		統計学入門	1	4							5	
		情報科学(情報と社会)	1	2							1	
		生命科学	1	2							1	
		コンピュータ・リテラシー	1	2							3	
		プログラミング	2	2							2	
		環境科学	2	2							2	
		平和・人権・世界科目 (その他)	総合科目A	1	2							1
			平和学入門	1	2			1				
	共通総合演習		1	2							11	
	総合科目B		2	2							1	
	地域研究A	2	2								1	
		地域研究B	2	2		1						
地域研究C		2	2							1		
小計(51科目)		-	6	118	0	9	1	1	0	0	84	
専門科目	イントロダクトリー科目	人間学	1	2		3		1				
		異文化コミュニケーション入門	1	2							1	
		哲学・思想への招待	1	2		1					1	
		世界文学への招待	1	2		6	1				1	
		表現文化論入門	1	2		2	1				1	
		歴史学への招待	1	2		1	1				1	
		現代社会研究への招待	1	2		3	1					
	ベーシック科目	社会福祉論	1	2			1					
		日本語教育概論	1	4							2	
		仏教思想概論	1	2							1	
		西洋哲学史 I	1	2							1	
		哲学概論	1	2				1				
		文学研究法入門 I	1	2		2	1				1	
		文学研究法入門 II	1	2			1				1	
		ロシア文学入門	1	2			1					
		日本文学概論	1	2		1						
		日本語学概論 I	1	2		1						
		日本語学概論 II	1	2		1						
		比較文化 I	1	2		1						
		比較文化 II	1	2		1						
		歴史学概論	1	2							1	
比較文化史概論	1	2		1								
考古学概論	1	2							1			
現代ロシア概論	1	2		1								
国際関係論	1	2		1								
社会調査の基礎	1	2							1			
社会学概論	1	2							1			
文化人類学	1	2		1								
日本語コミュニケーション論	2	2		1					1			
対照言語学	2	2							1			
日本語音声学	2	2							1			
倫理学概論	2	2		1					1			
日本思想史 I	2	2							1			
イギリス古典文学史	2	2		1								
イギリス近代文学史	2	2		1								
アメリカ文学史	2	2		1								
演劇入門	2	2		1								
ロシアの歴史と文化	2	2		1								
東欧の歴史と文化	2	2							1			
映画論	2	2							1			
日本文学史	2	2							1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ベーシック科目	中国文学Ⅰ	2	2							1	
		中国文学Ⅱ	2	2							1	
		言語学概論	2	4							2	
		日本古代・中世史概説	2	2		1						
		西洋史概説Ⅰ	2	2							1	
		西洋史概説Ⅱ	2	2							1	
		東洋史概説Ⅰ	2	2			1					
		東洋史概説Ⅱ	2	2			1					
		現代中国概論	2	2		1						
		中央アジア論	2	2		1						
		社会学史概説	2	2			1					
		家族の社会学	2	2							1	
		地域と都市の社会学	2	2							1	
		ジャーナリズムの社会学	2	2							1	
		宗教社会学	2	2							1	
		児童福祉論	2	2							1	
アドヴァンスド科目	アドヴァンスド科目	社会言語学	2	2		1						
		日本語文法Ⅰ	2	2		1						
		日本語文法Ⅱ	2	4		1						
		日本語教材研究Ⅰ	2	2							3	
		日本語教材研究Ⅱ	2	2							3	
		日本語教授法Ⅰ	2	2							1	
		日本語教授法Ⅱ	2	2							1	
		日本語の表現	2	2							1	
		西洋哲学史Ⅱ	2	2							1	
		論理学	2	2							1	
		科学哲学	2	2							1	
		宗教学	2	2							1	
		言語哲学	2	2				1				
		東洋思想史	2	2							1	
		日本思想史Ⅱ	2	2							1	
		日本古典文学作家作品論	2	2							1	
		日本近代文学作家作品論	2	2			1					
		漢文学特講Ⅰ	2	2							1	
		漢文学特講Ⅱ	2	2							1	
		日本語の語彙・表記	2	2			1					
		日本近世・近現代史概説	2	2			1					
		中国の政治	2	2			1					
		中国の経済	2	2			1					
		メディアと社会心理	2	2				1				
		歴史の社会学	2	2			1					
		ジェンダーの社会学	2	2							1	
		現代宗教の社会学	2	2							1	
		日本語教育学特講A	3	2							1	
		日本語教育学特講B	3	2							1	
		日本語教育学特講C	3	2							1	
		言語習得理論	3	4			1					
		英米児童文学研究	3	2			1					
		ロシア文学	3	2				1				
中東文化論Ⅰ	3	2			1							
中東文化論Ⅱ	3	2			1							
中央ユーラシア史	3	2							1			
民俗学	3	2							1			
西洋文化史	3	2							1			
東洋文化史	3	2							1			
古文書学	3	2							1			
平和学	3	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ベーシック科目	中国文学Ⅰ	2	2								1
		中国文学Ⅱ	2	2								1
		言語学概論	2	4								2
		日本古代・中世史概説	2	2					1			
		西洋史概説Ⅰ	2	2								1
		西洋史概説Ⅱ	2	2								1
		東洋史概説Ⅰ	2	2						1		
		東洋史概説Ⅱ	2	2						1		
		現代中国概論	2	2						1		
		中央アジア論	2	2						1		
		社会学史概説	2	2							1	
		家族の社会学	2	2								1
		地域と都市の社会学	2	2								1
		ジャーナリズムの社会学	2	2								1
		宗教社会学	2	2								1
		児童福祉論	2	2								1
アドヴァンスド科目	アドヴァンスド科目	社会言語学	2	2					1			
		日本語文法Ⅰ	2	2						1		
		日本語文法Ⅱ	2	4						1		
		日本語教材研究Ⅰ	2	2								3
		日本語教材研究Ⅱ	2	2								3
		日本語教授法Ⅰ	2	2								1
		日本語教授法Ⅱ	2	2								1
		日本語の表現	2	2								1
		西洋哲学史Ⅱ	2	2								1
		論理学	2	2								1
		科学哲学	2	2								1
		宗教学	2	2								1
		言語哲学	2	2							1	
		東洋思想史	2	2								1
		日本思想史Ⅱ	2	2								1
		日本古典文学作家作品論	2	2								1
		日本近代文学作家作品論	2	2						1		
		漢文学特講Ⅰ	2	2								1
		漢文学特講Ⅱ	2	2								1
		日本語の語彙・表記	2	2						1		
		日本近世・近現代史概説	2	2						1		
		中国の政治	2	2						1		
		中国の経済	2	2						1		
		メディアと社会心理	2	2							1	
		歴史の社会学	2	2							1	
		ジェンダーの社会学	2	2								1
		現代宗教の社会学	2	2								1
		日本語教育学特講A	3	2								1
		日本語教育学特講B	3	2								1
		日本語教育学特講C	3	2								1
		言語習得理論	3	4						1		
		英米児童文学研究	3	2						1		
		ロシア文学	3	2							1	
中東文化論Ⅰ	3	2						1				
中東文化論Ⅱ	3	2						1				
中央ユーラシア史	3	2								1		
民俗学	3	2								1		
西洋文化史	3	2								1		
東洋文化史	3	2								1		
古文書学	3	2								1		
平和学	3	2						1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	人間の安全保障	3通	2			1						
	国際社会論	3通	2			1						
	卒業研究A I	3通	1			1						
	日本語教授法演習	4通	2									3
	日本語教育実習	4通	2									2
	卒業研究A II (異文化コミュニケーション/日本語)	4通	3			1						
	卒業研究A II (哲学・歴史学)	4通	3			1	1					1
	卒業研究A II (表現文化)	4通	3			6	1					
	卒業研究A II (社会学)	4通	3			1						
	卒業研究B (異文化コミュニケーション/日本語)	4通	4			1						
	卒業研究B (哲学・歴史学)	4通	4			1						1
卒業研究B (表現文化)	4通	4			6	1						
卒業研究B (社会学)	4通	4			1	1					1	
小計(111科目)		-	0	239	0	22	5	1	0	0	34	
合計(162科目)		-	2	357	0	22	5	1	0	0	110	
卒業要件及び履修方法												
<p>○共通科目の大学科目から必修2単位を含む4単位以上、言語科目（英語）から必修4単位を含む4単位以上、言語科目（第2外国語）から2単位以上、社会分野・自然分野からそれぞれ8単位以上を含み、共通科目40単位以上の修得、</p> <p>○専門科目のイントロダクトリー科目から必修2単位を含む6単位以上、ベーシック科目から22単位以上、アドヴァンスト科目から14単位以上を含む専門科目64単位以上を修得し、124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：40単位（年間））</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	人間の安全保障	3通	2			1						
	国際社会論	3通	2			1						
	卒業研究A I	3通	1			1						
	日本語教授法演習	4通	2									3
	日本語教育実習	4通	2									2
	卒業研究A II (異文化コミュニケーション/日本語)	4通	3			1						
	卒業研究A II (哲学・歴史学)	4通	3			1	1					1
	卒業研究A II (表現文化)	4通	3			6	1					
	卒業研究A II (社会学)	4通	3			1						
	卒業研究B (異文化コミュニケーション/日本語)	4通	4			1						
	卒業研究B (哲学・歴史学)	4通	4			1						1
卒業研究B (表現文化)	4通	4			6	1						
卒業研究B (社会学)	4通	4			1	1					1	
小計(111科目)		-	0	239	0	25	2	1	0	0	34	
合計(162科目)		-	2	357	0	25	2	1	0	0	111	
卒業要件及び履修方法												
<p>○共通科目の大学科目から必修2単位を含む4単位以上、言語科目（英語）から必修4単位を含む4単位以上、言語科目（第2外国語）から2単位以上、社会分野・自然分野からそれぞれ8単位以上を含み、共通科目40単位以上の修得、</p> <p>○専門科目のイントロダクトリー科目から必修2単位を含む6単位以上、ベーシック科目から22単位以上、アドヴァンスト科目から14単位以上を含む専門科目64単位以上を修得し、124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：40単位（年間））</p>												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	大学科目	人間教育論	1通	2		4						8
		創価教育論	1通	2		1		1				6
		自立学習入門	1通	2		1						10
	(英語科目)	英語ⅠA	1通	2		1						2
		英語ⅠB	1通	2		1						6
		英語ⅡA	2通	2								2
		英語ⅡB	2通	2								5
	言語科目(第2外国語)	英会話Ⅰ	2通	2								6
		英会話Ⅱ	2通	2								6
		ドイツ語A	2通	2		1						1
		ドイツ語B	2通	2		1						1
		フランス語A	2通	2								2
		フランス語B	2通	2								2
		中国語Ⅰ	2通	2		1						2
		中国語Ⅱ	2通	2		1						2
		スペイン語A	2通	2		1						
		スペイン語B	2通	2		1						1
	(健康・体育科目)	体育講義B	1通	2								1
		体育講義C	1通	2								1
	(人文・芸術分野科目)	文学A	1通	2								1
		文学B	1通	2			1					
		哲学	1通	4				1				1
		音楽	2通	4								2
		美術	2通	4								2
		倫理学	2通	4		1						1
		歴史	2通	4		1						2
	(社会・文化・生活科目)	法学概説	1通	2								1
日本国憲法		1通	2								3	
経済学		1通	4								3	
経営学入門		1通	4								1	
心理学		1通	4								4	
社会学Ⅰ		2通	2								2	
社会学Ⅱ		2通	2			1					1	
政治学		2通	4								2	
教育学	2通	2								2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	(自然・数理・情報科目)	数学基礎	1通	4							2
		統計学入門	1通	4							6
		情報科学(情報と社会)	1通	2							1
		生命科学	1通	2							1
		コンピュータ・リテラシー	2通	2							3
		プログラミング	2通	2							3
		環境科学	2通	2							2
	(その他)	総合科目A	1通	2							1
		平和学入門	1通	2		1					
		共通総合演習	1通	2							8
		総合科目B	2通	2							1
		地域研究A	2通	2							1
		地域研究B	2通	2		1					
		地域研究C	2通	2							1
	小計(51科目)	-	6	118	0	18	2	2	0	0	82
専門科目	イントロダクトリー科目	人間学	1通	2		3		1			
		異文化コミュニケーション入門	1通	2							1
哲学・思想への招待		1通	2		1					1	
世界文学への招待		1通	2		6	1				1	
表現文化論入門		1通	2		2	1				1	
歴史学への招待		1通	2		1	1				1	
現代社会研究への招待		1通	2		3	1					
ベーシック科目	社会福祉論	1通	2			1					
	日本語教育概論	1通	4							2	
	仏教思想概論	1通	2							1	
	西洋哲学史Ⅰ	1通	2							1	
	哲学概論	1通	2				1				
	文学研究法入門Ⅰ	1通	2		2	1				1	
	文学研究法入門Ⅱ	1通	2			1				1	
	ロシア文学入門	1通	2			1					
	日本文学概論	1通	2		1						
	日本語学概論Ⅰ	1通	2		1						
	日本語学概論Ⅱ	1通	2		1						
	比較文化Ⅰ	1通	2		1						
	比較文化Ⅱ	1通	2		1						
	歴史学概論	1通	2							1	
	比較文化史概論	1通	2		1						
	考古学概論	1通	2							1	
	現代ロシア概論	1通	2		1						
	国際関係論	1通	2		1						
	社会調査の基礎	1通	2							1	
	社会学概論	1通	2							1	
	文化人類学	1通	2		1						
	日本語コミュニケーション論	2通	2		1					1	
	対照言語学	2通	2							1	
	日本語音声学	2通	2							1	
	倫理学概論	2通	2		1					1	
	日本思想史Ⅰ	2通	2							1	
	イギリス古典文学史	2通	2		1						
	イギリス近代文学史	2通	2		1						
	アメリカ文学史	2通	2		1						
	演劇入門	2通	2		1						
ロシアの歴史と文化	2通	2		1							
東欧の歴史と文化	2通	2							1		
映画論	2通	2							1		
日本文学史	2通	2							1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	ベーシック科目	中国文学Ⅰ	2	2								1	
		中国文学Ⅱ	2	2									1
		言語学概論	2	4									2
		日本古代・中世史概説	2	2			1						
		西洋史概説Ⅰ	2	2									1
		西洋史概説Ⅱ	2	2									1
		東洋史概説Ⅰ	2	2				1					
		東洋史概説Ⅱ	2	2				1					
		現代中国概論	2	2			1						
		中央アジア論	2	2			1						
		社会学史概説	2	2				1					
		家族の社会学	2	2									1
		地域と都市の社会学	2	2									1
		ジャーナリズムの社会学	2	2									1
		宗教社会学	2	2									1
		児童福祉論	2	2									1
アドヴァンスト科目	アドヴァンスト科目	社会言語学	2	2		1							
		日本語文法Ⅰ	2	2		1							
		日本語文法Ⅱ	2	4		1							
		日本語教材研究Ⅰ	2	2								3	
		日本語教材研究Ⅱ	2	2								3	
		日本語教授法Ⅰ	2	2								1	
		日本語教授法Ⅱ	2	2								1	
		日本語の表現	2	2								1	
		西洋哲学史Ⅱ	2	2								1	
		論理学	2	2								1	
		科学哲学	2	2								1	
		宗教学	2	2								1	
		言語哲学	2	2					1				
		東洋思想史	2	2								1	
		日本思想史Ⅱ	2	2								1	
		日本古典文学作家作品論	2	2								1	
		日本近代文学作家作品論	2	2			1						
		漢文学特講Ⅰ	2	2								1	
		漢文学特講Ⅱ	2	2								1	
		日本語の語彙・表記	2	2			1						
		日本近世・近現代史概説	2	2			1						
		中国の政治	2	2			1						
		中国の経済	2	2			1						
		メディアと社会心理	2	2				1					
		歴史の社会学	2	2			1						
		ジェンダーの社会学	2	2								1	
		現代宗教の社会学	2	2								1	
		日本語教育学特講A	3	2								1	
		日本語教育学特講B	3	2								1	
		日本語教育学特講C	3	2								1	
		言語習得理論	3	4			1						
		英米児童文学研究	3	2			1						
		ロシア文学	3	2				1					
		中東文化論Ⅰ	3	2			1						
		中東文化論Ⅱ	3	2			1						
		中央ユーラシア史	3	2								1	
民俗学	3	2								1			
西洋文化史	3	2								1			
東洋文化史	3	2								1			
古文書学	3	2								1			
平和学	3	2			1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	アドヴァンスト科目	人間の安全保障	3通	2		1						
		国際社会論	3通	2		1						
		卒業研究A I	3通	1		1						
		日本語教授法演習	4通	2								3
		日本語教育実習	4通	2								2
		卒業研究A II (異文化コミュニケーション/日本語)	4通	3		1						
		卒業研究A II (哲学・歴史学)	4通	3		1	1					1
		卒業研究A II (表現文化)	4通	3		6	1					
		卒業研究A II (社会学)	4通	3		1						
		卒業研究B (異文化コミュニケーション/日本語)	4通	4		1						
		卒業研究B (哲学・歴史学)	4通	4		1						1
	卒業研究B (表現文化)	4通	4		6	1						
	卒業研究B (社会学)	4通	4		1	1					1	
	小計(111科目)	-	2	239	0	22	5	1	0	0	34	
	合計(162科目)	-	8	357	0	22	5	1	0	0	110	
卒業要件及び履修方法												
<p>○共通科目の大学科目から必修2単位を含む4単位以上、言語科目（英語）から必修4単位を含む4単位以上、言語科目（第2外国語）から2単位以上、社会分野・自然分野からそれぞれ8単位以上を含み、共通科目40単位以上の修得、</p> <p>○専門科目のイントロダクトリー科目から必修2単位を含む6単位以上、ベーシック科目から22単位以上、アドヴァンスト科目から14単位以上を含む専門科目64単位以上を修得し、124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：40単位（年間））</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・「創価教育論」を都合により兼任教員の配置数を「7」から「6」に変更。
- ・「英語ⅠB」を都合により兼任教員の配置数を「8」から「6」に変更。
- ・「体育講義B」を都合により兼任教員の配置数を「2」から「1」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「日本国憲法」の兼任・兼任教員の配置数を「2」から「3」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「心理学」の兼任・兼任教員の配置数を「3」から「4」に変更。
- ・「コンピュータリテラシー」を都合により兼任教員の配置数を「4」から「3」に変更。
- ・「プログラミング」を都合により兼任教員の配置数を「4」から「3」に変更。
- ・授業内容の充実を図る理由により、「共通総合演習」の兼任・兼任教員の配置数を「5」から「8」に変更。

【令和元年度】

- (記入例)
- ・都合により「自学習入門」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」に、兼任・兼任を「10」から「9」に変更。
 - ・「英語ⅠB」を都合により兼任教員の配置数を「6」から「7」に変更。
 - ・「英語ⅡB」を受講者数減少のため、兼任教員の配置数を「5」から「4」に変更。
 - ・「英会話Ⅱ」を都合により兼任教員の配置数を「6」から「4」に変更。
 - ・「ドイツ語A」「ドイツ語B」を受講者数減少のため、兼任教員の配置数を「1」から「0」に変更し、専任教員の教授「1」で担当。
 - ・「中国語Ⅱ」を都合により兼任教員の配置数を「2」から「1」に変更。
 - ・「ハンガールⅡ」を都合により兼任教員の配置数を「4」から「3」に変更。
 - ・「心理学」を都合により兼任教員の配置数を「4」から「3」に変更。
 - ・「統計学入門」を都合により兼任教員の配置数を「6」から「5」に変更。
 - ・「コンピュータリテラシー」を早期の開講とするため、配当年次を「2通」から「1通」に変更。
 - ・「プログラミング」を受講者数減少のため、兼任教員の配置数を「3」から「2」に変更。
 - ・授業内容の充実を図る理由により、「共通総合演習」の兼任・兼任教員の配置数を「8」から「11」に変更。
 - ・「日本語文法Ⅱ」を都合により兼任教員の配置数を「0」から「1」に変更。
 - ・「文学B」「世界文学への招待」「表現文化論入門」「歴史学への招待」「文学研究法入門Ⅰ」「文学研究法入門Ⅱ」「ロシア文学入門」「東洋史概説Ⅰ」「東洋史概説Ⅱ」「メディアと社会心理」「ロシア文学」「卒業研究AⅡ(哲学・歴史)」「卒業研究AⅡ(表現文化)」「卒業研究B(表現文化)」の担当教員の承認に伴い、准教授から教授へ各「1」を変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	158 科目	0 科目	162 科目	4 科目 [0]	158 科目 [0]	0 科目 [0]	162 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{\#REF!} = \boxed{\#REF!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	万葉国際寮隣地の赤道 購入に伴う修正 (30)			
	校舎敷地	263,071.08 m ² 262,997.08 m²	0 m ²	0 m ²	263,071.08 m ² 262,997.08 m²				
	運動場用地	108,423.08 m ²	0 m ²	0 m ²	108,423.08 m ²				
	小 計	371,494.16 m ² 371,420.16 m²	0 m ²	0 m ²	371,494.16 m ² 371,420.16 m²				
	そ の 他	371,326.19 m ²	0 m ²	0 m ²	371,326.19 m ²				
	合 計	742,820.35 m ² 742,746.35 m²	0 m ²	0 m ²	742,820.35 m ² 742,746.35 m²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	文系校舎A棟別館・美術棟解体完了による修正 (元)				
	164,126.49 m ² 165,977.78 m²	0 m ²	0 m ²	164,126.49 m ² 165,977.78 m²					
	164,126.49 m ² (165,977.78 m²)	(0 m ²)	(0 m ²)	164,126.49 m ² (165,977.78 m²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	講義室内3室が情報処理学習施設に変更となったため(元)			
	57室 60室	5室	0室	8室 5室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	文学部 人間学科		29 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 0点	標 本 0点	大学全体での共用分 図書： 940,997冊 (940,997冊) 雑誌： 6,134種 (6,134種) 機械・器具： 2,252点 (2,252点)	
	通信教育部 文学部 人間学科	349,579 [93,109] (349,579 [93,109])	867 [372] (867 [372])	9,706 [9,639] (9,706 [9,639])	1,918 (1,918)	0 (0)	0 (0)		
	計	349,579 [93,109] (349,579 [93,109])	867 [372] (867 [372])	9,706 [9,639] (9,706 [9,639])	1,918 (1,918)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	8,763.80 m ²		1,200 席		1,290,079 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	13,585.06 m ²		陸上競技場、野球場、ラグビー場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	0千円	0千円	図書購入費	0千円	0千円	0千円	
	共 同 研 究 費 等	0千円	0千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円		
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
	116千円	89千円	89千円	89千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			寄付金、資産運用収入						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	創 価 大 学									備 考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次 人	人			倍	年度	年度	
経済学部	4	190	3年次 18	816	-	-	1.04	平成30	昭和46	東京都八王子市丹木町1丁目236番地
経済学科	4	190	3年次 18	816	学士 (経済学)	-	1.04	平成30	昭和46	同上
法学部	4	240	3年次 8	996	-	-	1.03	平成30	昭和46	同上
法律学科	4	240	3年次 8	996	学士 (法学)	-	1.03	平成30	昭和46	同上
文学部	4	350	3年次 40	1,520	-	-	1.03	平成30	昭和46	同上
人間学科	4	350	3年次 40	1,520	学士 (文学)	-	1.03	平成30	昭和46	同上
経営学部	4	190	3年次 26	832	-	-	1.07	平成30	昭和51	同上
経営学科	4	190	3年次 26	832	学士 (経営学)	-	1.07	平成30	昭和51	同上
教育学部	4	180	-	720	-	-	1.04	-	昭和51	同上
教育学科	4	80	-	320	学士 (教育学)	-	1.04	-	昭和51	同上
児童教育学科	4	100	-	400	学士 (教育学)	-	1.05	-	昭和51	同上
理工学部	4	180	-	720	-	-	1.03	-	平成3	同上
情報システム工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	-	1.03	-	平成3	同上
共生創造理工学科	4	100	-	400	学士 (理工学)	-	1.03	-	平成27	同上
生命情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成3	同上
環境共生工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成15	同上
看護学部	4	80	-	320	-	-	1.02	-	平成25	同上
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	-	1.02	-	平成25	同上
国際教養学部	4	90	-	340	-	-	1.08	平成30年	平成26	同上
国際教養学科	4	90	-	340	学士 (国際教養学)	-	1.08	平成30年	平成26	同上
大学全体〔通信教育部除く〕	4	1,500	92	6,264	-	-	1.04	-	-	-
[通信教育部]										
経済学部	4	1,000	3年次 100	6,200	-	-	0.06	平成30年	昭和51	同上
経済学科	4	1,000	3年次 100	6,200	学士 (経済学)	-	0.06	平成30年	昭和51	同上
法学部	4	1,000	3年次 100	6,200	-	-	0.05	平成30年	昭和51	同上
法律学科	4	1,000	3年次 100	6,200	学士 (法学)	-	0.05	平成30年	昭和51	同上
教育学部	4	650	-	2,600	-	-	0.26	-	昭和57	同上
教育学科	4	300	-	1,200	学士 (教育学)	-	0.32	-	昭和57	同上
児童教育学科	4	350	-	1,400	学士 (教育学)	-	0.20	-	昭和57	同上
文学部	4	750	3年次 100	1,500	-	-	0.48	-	平成30	同上
人間学科	4	750	3年次 100	1,500	学士 (文学)	-	0.48	-	平成30	同上

大学の名称	創 価 大 学 大 学 院									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
[博士前期課程]										
経済学研究科	2	15	-	30	-	0.46	-	昭和50	東京都八王子市丹木町1丁目236番地	
経済学専攻	2	15	-	30	修士 (経済学)	0.46	-	昭和50	同上	
法学研究科	2	15	-	30	-	0.39	-	昭和50	同上	
法学学専攻	2	15	-	30	修士 (法学)	0.39	-	昭和50	同上	
文学研究科	2	58	-	116	-	0.39	-	昭和50	同上	
英文学専攻	2	10	-	20	修士 (英文学)	0.05	-	昭和50	同上	
社会学専攻	2	10	-	20	修士 (社会学)	0.25	-	昭和50	同上	
教育学専攻	2	15	-	30	修士 (教育学)	0.56	-	昭和61	同上	
人文学専攻	2	8	-	16	修士 (人文学)	0.25	-	平成4	同上	
国際言語教育専攻	2	15	-	30	修士 (教育学)	0.83	-	平成21	同上	
工学研究科	2	75	-	150	-	0.69	-	平成7	同上	
情報システム工学専攻	2	30	-	60	修士 (工学)	0.89	-	平成7	同上	
生命情報工学専攻	2	20	-	40	修士 (工学)	0.47	-	平成7	同上	
環境共生工学専攻	2	25	-	50	修士 (工学)	0.72	-	平成19	同上	
国際平和学研究科	2	16	-	32	-	0.87	-	平成30	同上	
国際平和学専攻	2	16	-	32	修士 (国際平和学)	0.87	-	平成30	同上	
[博士後期課程]										
経済学研究科	3	5	-	15	-	0.20	-	昭和52	同上	
経済学専攻	3	5	-	15	博士 (経済学)	0.20	-	昭和52	同上	
法学研究科	3	3	-	9	-	0.00	-	昭和52	同上	
法学学専攻	3	3	-	9	博士 (法学)	0.00	-	昭和52	同上	
文学研究科	3	16	-	48	-	0.34	-	昭和52	同上	
英文学専攻	3	5	-	15	博士 (英文学)	0.06	-	昭和52	同上	
社会学専攻	3	5	-	15	博士 (社会学)	0.20	-	昭和52	同上	
教育学専攻	3	2	-	6	博士 (教育学)	0.83	-	平成元	同上	
人文学専攻	3	4	-	12	博士 (人文学)	0.25	-	平成6	同上	
工学研究科	3	11	-	33	-	1.05	-	平成9	同上	
情報システム工学専攻	3	4	-	12	博士 (工学)	0.75	-	平成9	同上	
生命情報工学専攻	3	4	-	12	博士 (工学)	0.75	-	平成9	同上	
環境共生工学専攻	3	3	-	9	博士 (工学)	1.66	-	平成19	同上	
[大学院]〈専門職課程〉										
教職研究科	2	25	-	50	-	0.40	-	平成20	同上	
教職専攻	2	25	-	50	教職修士 (専門職)	0.40	-	平成20	同上	

法務研究科	3	28	-	84	-	0.63	-	平成16	同上	
法務専攻	3	28	-	84	法務博士 (専門職)	0.63	-	平成16	同上	
大学の名称	〇〇短期大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
国際ビジネス学科	年	人	年次 人	人	短期大学士 (国際ビジ ネス)	倍	年度	年度	東京都八王子市丹木 町1丁目236番地	平成30年学生募集停 止
英語コミュニケーション学科	2	250	-	500	短期大学士 (英語コミュニ ケーション)	0.92	-	昭和60	同上	
大学全体	2	-	-	-	-	-	-	昭和60	同上	
大学全体	2	250	-	500	-	0.92	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<文学部 人間学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	浅山 龍一 (64) <平成30年4月> 文学修士※	人間教育論※ 英語 I A 英語 I B 世界文学への招待※ アメリカ文学史 英米児童文学研究 卒業研究 A II (表現文化)※ 卒業研究 B (表現文化)※
専	教授	佐々木 精治 (64) <平成30年4月> 文学修士※	文学研究法入門 I ※ ロシアの歴史と文化
専	教授	石原 忠佳 (64) <平成30年4月> Ph. D en Filosofia y Letras (スペイン)	スペイン語 A スペイン語 B 中東文化論 I 中東文化論 II
専	教授	田中 亮平 (63) <平成30年4月> 文学修士	人間教育論※ ドイツ語 A ドイツ語 B 世界文学への招待※ 卒業研究 A II (表現文化)※ 卒業研究 B (表現文化)※
専	教授	武 澎東 (63) <平成30年4月> 経済学修士※	現代社会研究への招待※ 中国の政治 中国の経済 現代中国概論
専	教授	木下 薫 (63) <平成30年4月> 文学修士※	卒業研究 A II (表現文化)※ 卒業研究 B (表現文化)※ 世界文学への招待 ※
専	教授	高橋 強 (63) <平成30年4月> 法学修士	人間教育論※ 自立学習入門※ 中国語 I 中国語 II 地域研究 B 世界文学への招待※
専	教授	季武 嘉也 (62) <平成30年4月> 博士(文学)	日本近世・近現代史概説 卒業研究 B (哲学・歴史学)
専	教授	守屋 三千代 (62) <平成30年4月> 文学修士	卒業研究 A II (異文化コミュニケーション日本語) 卒業研究 B (異文化コミュニケーション日本語)
専	教授	高橋 正 (61) <平成30年4月> 文学修士※	比較文化 I 比較文化 II

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	浅山 龍一 (65) <平成30年4月> 文学修士※	人間教育論※ 英語 I A 英語 I B 世界文学への招待※ アメリカ文学史 英米児童文学研究 卒業研究 A II (表現文化)※ 卒業研究 B (表現文化)※
専	教授	佐々木 精治 (65) <平成30年4月> 文学修士※	文学研究法入門 I ※ ロシアの歴史と文化
専	教授	石原 忠佳 (65) <平成30年4月> Ph. D en Filosofia y Letras (スペイン)	スペイン語 A スペイン語 B 中東文化論 I 中東文化論 II
専	教授	田中 亮平 (64) <平成30年4月> 文学修士	人間教育論※ ドイツ語 A ドイツ語 B 世界文学への招待※ 卒業研究 A II (表現文化)※ 卒業研究 B (表現文化)※
専	教授	武 澎東 (64) <平成30年4月> 経済学修士※	現代社会研究への招待※ 中国の政治 中国の経済 現代中国概論
専	教授	木下 薫 (64) <平成30年4月> 文学修士※	卒業研究 A II (表現文化)※ 卒業研究 B (表現文化)※ 世界文学への招待 ※
専	教授	高橋 強 (64) <平成30年4月> 法学修士	人間教育論※ 自立学習入門※ 中国語 I 中国語 II 地域研究 B 世界文学への招待※
専	教授	季武 嘉也 (63) <平成30年4月> 博士(文学)	日本近世・近現代史概説 卒業研究 B (哲学・歴史学)
専	教授	守屋 三千代 (63) <平成30年4月> 文学修士	卒業研究 A II (異文化コミュニケーション日本語) 卒業研究 B (異文化コミュニケーション日本語)
専	教授	高橋 正 (62) <平成30年4月> 文学修士※	比較文化 I 比較文化 II

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	浅山 龍一 (66) <平成30年4月> 文学修士※	人間教育論※ 英語 I A 英語 I B 世界文学への招待※ アメリカ文学史 英米児童文学研究 卒業研究 A II (表現文化)※ 卒業研究 B (表現文化)※
専	教授	佐々木 精治 (66) <平成30年4月> 文学修士※	文学研究法入門 I ※ ロシアの歴史と文化
専	教授	石原 忠佳 (66) <平成30年4月> Ph. D en Filosofia y Letras (スペイン)	スペイン語 A スペイン語 B 中東文化論 I 中東文化論 II
専	教授	田中 亮平 (65) <平成30年4月> 文学修士	人間教育論※ ドイツ語 A ドイツ語 B 世界文学への招待※ 卒業研究 A II (表現文化)※ 卒業研究 B (表現文化)※
専	教授	武 澎東 (65) <平成30年4月> 経済学修士※	現代社会研究への招待※ 中国の政治 中国の経済 現代中国概論
専	教授	木下 薫 (65) <平成30年4月> 文学修士※	卒業研究 A II (表現文化)※ 卒業研究 B (表現文化)※ 世界文学への招待 ※
専	教授	高橋 強 (65) <平成30年4月> 法学修士	人間教育論※ 中国語 I 中国語 II 地域研究 B 世界文学への招待※
専	教授	季武 嘉也 (64) <平成30年4月> 博士(文学)	日本近世・近現代史概説 卒業研究 B (哲学・歴史学)
専	教授	守屋 三千代 (64) <平成30年4月> 文学修士	卒業研究 A II (異文化コミュニケーション日本語) 卒業研究 B (異文化コミュニケーション日本語)
専	教授	高橋 正 (63) <平成30年4月> 文学修士※	比較文化 I 比較文化 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	材ノ カミ 大野 久美 (61) <平成30年4月> 博士(文学) 表現文化論入門※ 演劇入門 卒業研究AⅡ(表現文化) ※ 卒業研究B(表現文化)※
専	教授	サハノ コウジ 坂井 孝一 (59) <平成30年4月> 博士(文学) 歴史※ 歴史学への招待※ 日本古代・中世史概説 比較文化史概説
専	教授	スズキ カネコ 鈴木 邦彦 (59) <平成30年4月> 文学修士 世界文学への招待※ イギリス古典文学史 イギリス近代文学史 卒業研究AⅡ(表現文化) ※ 卒業研究B(表現文化)※
専	教授	コガネ マサシ 小嶋 雅義 (58) <平成30年4月> 経済学修士 現代社会研究への招待※ 現代ロシア概論 中央アジア論
専	教授	カネコ ヒロシ 金子 弘 (57) <平成30年4月> 文学修士 日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ 日本語の語彙・表記
専	教授	ヤマカミ マサキ 山岡 政紀 (54) <平成30年4月> 博士(言語学) 人間教育論※ 人間学※ 日本語コミュニケーション論 日本語文法Ⅱ
専	教授	ヤマカミ マサキ 山中 正樹 (54) <平成30年4月> 博士(文学) 世界文学への招待※ 表現文化論入門※ 文学研究法入門Ⅰ※ 日本文学概論 日本近代文学作家作品論 卒業研究AⅡ(表現文化) ※ 卒業研究B(表現文化)※
専	教授	タマキ ヒロキ 玉井 秀樹 (54) <平成30年4月> 文学修士 平和学入門 現代社会研究への招待※ 国際関係論 平和学 人間の安全保障 国際社会論 卒業研究B(社会学)
専	教授	コバヤシ タカオ 小林 和夫 (50) <平成30年4月> 博士(都市科学) 歴史の社会学 卒業研究AⅡ(社会学)
専	教授	マツカバ ノブミ 大塚 望 (45) <平成30年4月> 修士(言語学)※ 社会言語学 日本語文法Ⅰ 言語習得理論
専	教授	イトウ タカヲ 伊藤 貴雄 (43) <平成30年4月> 博士(人文学) 創価教育論※ 倫理学 人間学※ 哲学・思想への招待※ 倫理学概論 卒業研究AⅡ(哲学・歴史学)※
専	教授	イノエ タケシ 井上 大介 (45) <平成30年4月> Doctor En Antropologia (メキシコ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	材ノ カミ 大野 久美 (61) <平成30年4月> 博士(文学) 表現文化論入門※ 演劇入門 卒業研究AⅡ(表現文化) ※ 卒業研究B(表現文化)※
専	教授	サハノ コウジ 坂井 孝一 (60) <平成30年4月> 博士(文学) 歴史※ 歴史学への招待※ 日本古代・中世史概説 比較文化史概説
専	教授	スズキ カネコ 鈴木 邦彦 (60) <平成30年4月> 文学修士 世界文学への招待※ イギリス古典文学史 イギリス近代文学史 卒業研究AⅡ(表現文化) ※ 卒業研究B(表現文化)※
専	教授	コガネ マサシ 小嶋 雅義 (59) <平成30年4月> 経済学修士 現代社会研究への招待※ 現代ロシア概論 中央アジア論
専	教授	カネコ ヒロシ 金子 弘 (58) <平成30年4月> 文学修士 日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ 日本語の語彙・表記
専	教授	ヤマカミ マサキ 山岡 政紀 (55) <平成30年4月> 博士(言語学) 人間教育論※ 人間学※ 日本語コミュニケーション論 日本語文法Ⅱ
専	教授	ヤマカミ マサキ 山中 正樹 (55) <平成30年4月> 博士(文学) 世界文学への招待※ 表現文化論入門※ 文学研究法入門Ⅰ※ 日本文学概論 日本近代文学作家作品論 卒業研究AⅡ(表現文化) ※ 卒業研究B(表現文化)※
専	教授	タマキ ヒロキ 玉井 秀樹 (55) <平成30年4月> 文学修士 平和学入門 現代社会研究への招待※ 国際関係論 平和学 人間の安全保障 国際社会論 卒業研究B(社会学)
専	教授	コバヤシ タカオ 小林 和夫 (51) <平成30年4月> 博士(都市科学) 歴史の社会学 卒業研究AⅡ(社会学)
専	教授	マツカバ ノブミ 大塚 望 (46) <平成30年4月> 修士(言語学)※ 社会言語学 日本語文法Ⅰ 言語習得理論
専	教授	イトウ タカヲ 伊藤 貴雄 (44) <平成30年4月> 博士(人文学) 倫理学 人間学※ 哲学・思想への招待※ 倫理学概論 卒業研究AⅡ(哲学・歴史学)※
専	教授	イノエ タケシ 井上 大介 (46) <平成30年4月> Doctor En Antropologia (メキシコ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	材ノ カミ 大野 久美 (62) <平成30年4月> 博士(文学) 表現文化論入門※ 演劇入門 卒業研究AⅡ(表現文化) ※ 卒業研究B(表現文化)※
専	教授	サハノ コウジ 坂井 孝一 (61) <平成30年4月> 博士(文学) 歴史※ 歴史学への招待※ 日本古代・中世史概説 比較文化史概説
専	教授	スズキ カネコ 鈴木 邦彦 (61) <平成30年4月> 文学修士 世界文学への招待※ イギリス古典文学史 イギリス近代文学史 卒業研究AⅡ(表現文化) ※ 卒業研究B(表現文化)※
専	教授	コガネ マサシ 小嶋 雅義 (60) <平成30年4月> 経済学修士 現代社会研究への招待※ 現代ロシア概論 中央アジア論
専	教授	カネコ ヒロシ 金子 弘 (59) <平成30年4月> 文学修士 日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ 日本語の語彙・表記
専	教授	ヤマカミ マサキ 山岡 政紀 (56) <平成30年4月> 博士(言語学) 人間教育論※ 人間学※ 日本語コミュニケーション論 日本語文法Ⅱ
専	教授	ヤマカミ マサキ 山中 正樹 (56) <平成30年4月> 博士(文学) 世界文学への招待※ 表現文化論入門※ 文学研究法入門Ⅰ※ 日本文学概論 日本近代文学作家作品論 卒業研究AⅡ(表現文化) ※ 卒業研究B(表現文化)※
専	教授	タマキ ヒロキ 玉井 秀樹 (56) <平成30年4月> 文学修士 平和学入門 現代社会研究への招待※ 国際関係論 平和学 人間の安全保障 国際社会論 卒業研究B(社会学)
専	教授	コバヤシ タカオ 小林 和夫 (52) <平成30年4月> 博士(都市科学) 歴史の社会学 卒業研究AⅡ(社会学)
専	教授	マツカバ ノブミ 大塚 望 (47) <平成30年4月> 修士(言語学)※ 社会言語学 日本語文法Ⅰ 言語習得理論
専	教授	イトウ タカヲ 伊藤 貴雄 (45) <平成30年4月> 博士(人文学) 倫理学 人間学※ 哲学・思想への招待※ 倫理学概論 卒業研究AⅡ(哲学・歴史学)※
専	教授	イノエ タケシ 井上 大介 (47) <平成30年4月> Doctor En Antropologia (メキシコ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		人間学※ 文化人類学 卒業研究 A I
専	准教授	シバキ アキ 渋谷 明子 (55) <平成30年4月> 博士(社会学)
		メディアと社会心理
専	准教授	サガエ ミツリ 寒河江 光徳 (48) <平成30年4月> 博士(文学)
		文学B 世界文学への招待※ 表現文化論入門※ 文学研究法入門 I ※ 文学研究法入門 II ※ ロシア文学入門 ロシア文学 卒業研究 A II (表現文化) ※ 卒業研究 B (表現文化) ※
専	准教授	ムラカミ ノブアキ 村上 信明 (41) <平成30年4月> 博士(文学)
		歴史学への招待※ 東洋史概説 I 東洋史概説 II 卒業研究 A II (哲学・歴史学) ※
専	准教授	ニシカワ (トク) ハナナ 西川 (加藤) ハナナ (49) <平成30年4月> 社会福祉学修士※
		社会福祉論
専	准教授	シズキ ケン 清水 強志 (45) <平成30年4月> 博士(社会学)
		社会学 II 現代社会研究への招待※ 社会学史概説 卒業研究 B (社会学)
専	講師	マツナガハシ リョウ 蝶名林 亮 (35) <平成30年4月> Ph. D. in Philosophy (英国)
		創備教育論※ 哲学 人間学※ 哲学概論 言語哲学
学長 兼任	教授	ウマバチ ケン 馬場 善久 (64) <平成30年4月> Ph. D. in Economics (米国)
		人間教育論※ 統計学入門※
兼任	教授	ハナミ ツネキチ 花見 常幸 (64) <平成30年4月> 法学修士※
		人間教育論※ 共通総合演習
兼任	教授	カネタチ コウイチ 神立 孝一 (61) <平成30年4月> 博士(経済学)
		人間教育論※ 創備教育論※
兼任	教授	スズキ マサシ 鈴木 将史 (57) <平成30年4月> 理学修士※
		人間教育論※
兼任	教授	カネガキ ジュンイチ 勘坂 純市 (53) <平成30年4月> 博士(経済学)
		創備教育論※
兼任	教授	ナカヤマ マサシ 中山 雅司 (57) <平成30年4月> 法学修士
		創備教育論※
兼任	教授	テラシマ ヒロユキ 寺西 宏友 (61) <平成30年4月> 経済学修士※
		人間教育論※
兼任	教授	エガチ ミツル 江口 満 (57) <平成30年4月> Ph. D. in Philosophy (D27)
		人間教育論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		人間学※ 文化人類学 卒業研究 A I
専	教授	シバキ アキ 渋谷 明子 (56) <平成30年4月> 博士(社会学)
		メディアと社会心理
専	教授	サガエ ミツリ 寒河江 光徳 (49) <平成30年4月> 博士(文学)
		文学B 世界文学への招待※ 表現文化論入門※ 文学研究法入門 I ※ 文学研究法入門 II ※ ロシア文学入門 ロシア文学 卒業研究 A II (表現文化) ※ 卒業研究 B (表現文化) ※
専	教授	ムラカミ ノブアキ 村上 信明 (42) <平成30年4月> 博士(文学)
		歴史学への招待※ 東洋史概説 I 東洋史概説 II 卒業研究 A II (哲学・歴史学) ※
専	准教授	ニシカワ (トク) ハナナ 西川 (加藤) ハナナ (50) <平成30年4月> 社会福祉学修士※
		社会福祉論
専	准教授	シズキ ケン 清水 強志 (46) <平成30年4月> 博士(社会学)
		社会学 II 現代社会研究への招待※ 社会学史概説 卒業研究 B (社会学)
専	講師	マツナガハシ リョウ 蝶名林 亮 (36) <平成30年4月> Ph. D. in Philosophy (英国)
		哲学 人間学※ 哲学概論 言語哲学
学長 兼任	教授	ウマバチ ケン 馬場 善久 (65) <平成30年4月> Ph. D. in Economics (米国)
		人間教育論※ 統計学入門※
兼任	教授	ハナミ ツネキチ 花見 常幸 (65) <平成30年4月> 法学修士※
		人間教育論※ 共通総合演習
兼任	教授	カネタチ コウイチ 神立 孝一 (62) <平成30年4月> 博士(経済学)
		人間教育論※ 創備教育論※
兼任	教授	スズキ マサシ 鈴木 将史 (58) <平成30年4月> 理学修士※
		人間教育論※
兼任	教授	カネガキ ジュンイチ 勘坂 純市 (54) <平成30年4月> 博士(経済学)
		創備教育論※
兼任	教授	ナカヤマ マサシ 中山 雅司 (58) <平成30年4月> 法学修士
		創備教育論※
兼任	教授	テラシマ ヒロユキ 寺西 宏友 (62) <平成30年4月> 経済学修士※
		人間教育論※
兼任	教授	エガチ ミツル 江口 満 (59) <平成30年4月> Ph. D. in Philosophy (D27)
		人間教育論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		人間学※ 文化人類学 卒業研究 A I
専	教授	シバキ アキ 渋谷 明子 (57) <平成30年4月> 博士(社会学)
		メディアと社会心理
専	教授	サガエ ミツリ 寒河江 光徳 (50) <平成30年4月> 博士(文学)
		文学B 世界文学への招待※ 表現文化論入門※ 文学研究法入門 I ※ 文学研究法入門 II ※ ロシア文学入門 ロシア文学 卒業研究 A II (表現文化) ※ 卒業研究 B (表現文化) ※
専	教授	ムラカミ ノブアキ 村上 信明 (43) <平成30年4月> 博士(文学)
		歴史学への招待※ 東洋史概説 I 東洋史概説 II 卒業研究 A II (哲学・歴史学) ※
専	准教授	ニシカワ (トク) ハナナ 西川 (加藤) ハナナ (51) <平成30年4月> 社会福祉学修士※
		社会福祉論
専	准教授	シズキ ケン 清水 強志 (47) <平成30年4月> 博士(社会学)
		社会学 II 自立学習入門※ 現代社会研究への招待※ 社会学史概説 卒業研究 B (社会学)
専	講師	マツナガハシ リョウ 蝶名林 亮 (37) <平成30年4月> Ph. D. in Philosophy (英国)
		哲学 人間学※ 哲学概論 言語哲学
学長 兼任	教授	ウマバチ ケン 馬場 善久 (66) <平成30年4月> Ph. D. in Economics (米国)
		人間教育論※ 統計学入門※
兼任	教授	ハナミ ツネキチ 花見 常幸 (66) <平成30年4月> 法学修士※
		人間教育論※ 共通総合演習
兼任	教授	カネタチ コウイチ 神立 孝一 (63) <平成30年4月> 博士(経済学)
		人間教育論※ 創備教育論※
兼任	教授	スズキ マサシ 鈴木 将史 (59) <平成30年4月> 理学修士※
		人間教育論※
兼任	教授	カネガキ ジュンイチ 勘坂 純市 (55) <平成30年4月> 博士(経済学)
		創備教育論※
兼任	教授	ナカヤマ マサシ 中山 雅司 (59) <平成30年4月> 法学修士
		創備教育論※
兼任	教授	テラシマ ヒロユキ 寺西 宏友 (63) <平成30年4月> 経済学修士※
		人間教育論※
兼任	教授	エガチ ミツル 江口 満 (59) <平成30年4月> Ph. D. in Philosophy (D27)
		人間教育論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	サトミ ミチ 坂本 幹雄 (61) <平成30年4月> 経済学修士※
		自立学習入門※ 経済学※ 数学基礎※ 共通総合演習
兼任	教授	リウ ケイ 劉 麗生 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		自立学習入門※ コンピュータ・リテラシー プログラミング 情報科学(情報と社会)
兼任	教授	マシマ リウロウ 松島 龍太郎 (65) <平成31年4月> 文学修士※
		英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	教授	スズイ ノブキ 鈴井 宣行 (67) <平成31年4月> 文学修士
		フランス語A フランス語B
兼任	教授	ユイ ショウ 伊 秀一 (60) <平成31年4月> 教育学修士※
		ハングルⅠ ハングルⅡ
兼任	教授	カダマ ヒロシ 久保田 秀明 (56) <平成30年4月> 体育学修士※
		体育講義B
兼任	教授	スズキ マサトシ 鈴木 正敏 (67) <平成30年4月> 体育学修士
		体育講義C
兼任	教授	シメタ シヨウ 清水 由朗 (57) <平成31年4月> 芸術学修士※
		美術
兼任	教授	イケダ ヒロコ 池田 秀彦 (62) <平成30年4月> 法学修士※
		法学概説
兼任	教授	フジタ ヒサシ 藤田 尚則 (64) <平成30年4月> 法学博士
		日本国憲法
兼任	教授	イヅミ マサトシ 犬塚 正智 (59) <平成30年4月> 商学修士※
		経営学入門
兼任	教授	カガリ ヒロシ 鉤 治雄 (65) <平成30年4月> 教育学修士
		心理学※ 教育学
兼任	教授	アサヒ マサフミ 浅井 学 (45) <平成30年4月> 博士(社会経済)
		統計学入門※
兼任	教授	サキモト イロウ 杉本 一郎 (50) <平成30年4月> Ph.D. in Economics (1977)
		統計学入門※
兼任	教授	ヤマモト ショウイチ 山本 修一 (63) <平成31年4月> 理学博士
		環境科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	サトミ ミチ 坂本 幹雄 (61) <平成30年4月> 経済学修士※
		自立学習入門※ 経済学※ 数学基礎※ 共通総合演習
兼任	教授	リウ ケイ 劉 麗生 (53) <平成30年4月> 博士(工学)
		自立学習入門※ コンピュータ・リテラシー プログラミング 情報科学(情報と社会)
兼任	教授	マシマ リウロウ 松島 龍太郎 (66) <平成31年4月> 文学修士※
		英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	教授	スズイ ノブキ 鈴井 宣行 (68) <平成31年4月> 文学修士
		フランス語A フランス語B
兼任	教授	ユイ ショウ 伊 秀一 (61) <平成31年4月> 教育学修士※
		ハングルⅠ ハングルⅡ
兼任	教授	カダマ ヒロシ 久保田 秀明 (57) <平成30年4月> 体育学修士※
		体育講義B
兼任	教授	スズキ マサトシ 鈴木 正敏 (68) <平成30年4月> 体育学修士
		体育講義C
兼任	教授	シメタ シヨウ 清水 由朗 (57) <平成31年4月> 芸術学修士※
		美術
兼任	教授	イケダ ヒロコ 池田 秀彦 (63) <平成30年4月> 法学修士※
		法学概説
兼任	教授	フジタ ヒサシ 藤田 尚則 (65) <平成30年4月> 法学博士
		日本国憲法
兼任	教授	イヅミ マサトシ 犬塚 正智 (60) <平成30年4月> 商学修士※
		経営学入門
兼任	教授	カガリ ヒロシ 鉤 治雄 (66) <平成30年4月> 教育学修士
		心理学※ 教育学
兼任	教授	アサヒ マサフミ 浅井 学 (46) <平成30年4月> 博士(社会経済)
		統計学入門※
兼任	教授	サキモト イロウ 杉本 一郎 (51) <平成30年4月> Ph.D. in Economics (1977)
		統計学入門※
兼任	教授	ヤマモト ショウイチ 山本 修一 (64) <平成31年4月> 理学博士
		環境科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	サトミ ミチ 坂本 幹雄 (62) <平成30年4月> 経済学修士※
		経済学※ 数学基礎※ 共通総合演習
兼任	教授	リウ ケイ 劉 麗生 (54) <平成30年4月> 博士(工学)
		自立学習入門※ コンピュータ・リテラシー プログラミング 情報科学(情報と社会)
兼任	教授	マシマ リウロウ 松島 龍太郎 (67) <平成31年4月> 文学修士※
		英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	教授	スズイ ノブキ 鈴井 宣行 (69) <平成31年4月> 文学修士
		フランス語A フランス語B
兼任	教授	ユイ ショウ 伊 秀一 (62) <平成31年4月> 教育学修士※
		ハングルⅠ ハングルⅡ
兼任	教授	カダマ ヒロシ 久保田 秀明 (58) <平成30年4月> 体育学修士※
		体育講義B
兼任	教授	スズキ マサトシ 鈴木 正敏 (69) <平成30年4月> 体育学修士
		体育講義C
兼任	教授	シメタ シヨウ 清水 由朗 (58) <平成31年4月> 芸術学修士※
		美術
兼任	教授	イケダ ヒロコ 池田 秀彦 (64) <平成30年4月> 法学修士※
		法学概説
兼任	教授	フジタ ヒサシ 藤田 尚則 (66) <平成30年4月> 法学博士
		日本国憲法
兼任	准教授	イサダ シヨウ 安田 實憲 (48) <平成31年4月> 修士(経済学)
		経営学入門
兼任	教授	カガリ ヒロシ 鉤 治雄 (67) <平成30年4月> 教育学修士
		心理学※ 教育学
兼任	教授	アサヒ マサフミ 浅井 学 (47) <平成30年4月> 博士(社会経済)
		統計学入門※
兼任	教授	サキモト イロウ 杉本 一郎 (52) <平成30年4月> Ph.D. in Economics (1977)
		統計学入門※
兼任	教授	ヤマモト ショウイチ 山本 修一 (65) <平成31年4月> 理学博士
		環境科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	77ガ イ ヒツ 天谷 永 (59) <平成30年4月> Ph.D. in Economics (米国)	統計学入門※
兼任	教授	カガ シン 年田 伸一 (43) <平成30年4月> 博士(教育学)	創価教育論※
兼任	教授	77ト リウ 有里 典三 (62) <平成30年4月> 文学修士	自立学習入門※ 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ 共通総合演習 卒業研究B(社会学) 社会調査の基礎 社会学概論 地域と都市の社会学
兼任	教授	ヤマシ 妙子 山本 忠行 (61) <平成30年4月> 文学修士	自立学習入門※ 共通総合演習 日本語教育概論※ 言語学概論※ 日本語教育学特講A 日本語教育学特講C
兼任	准教授	ヒサキ 吉隆 日高 吉隆 (51) <平成31年4月> 学術修士	日本語教材研究Ⅰ※ 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※ 日本語教育実習
兼任	准教授	トモト 比呂子 富岡 比呂子 (43) <平成30年4月> Ph.D. in Education (米国)	創価教育論※
兼任	准教授	ドウキ 堂前 豊 (56) <平成30年4月> 経済学士※	自立学習入門※ 経済学※ 数学基礎※
兼任	准教授	ヤマザキ 山崎 勝 (55) <平成30年4月> 経済学修士※	自立学習入門※ 地域研究A
兼任	准教授	ナカノ コウジ 内藤 耕三 (46) <平成30年4月> 博士(工学)	体育講義B
兼任	准教授	ヒロ 重 秀勝 重 秀勝 (47) <平成30年4月> 学校教育学博士	音楽
兼任	准教授	ヤマノ リョウ 山田 隆司 (54) <平成30年4月> 博士(法学)	日本国憲法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	77ガ イ ヒツ 天谷 永 (60) <平成30年4月> Ph.D. in Economics (米国)	統計学入門※
兼任	教授	77ト リウ 有里 典三 (63) <平成30年4月> 文学修士	自立学習入門※ 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ 共通総合演習 卒業研究B(社会学) 社会調査の基礎 社会学概論 地域と都市の社会学
兼任	教授	ヤマシ 妙子 山本 忠行 (62) <平成30年4月> 文学修士	自立学習入門※ 日本語教育概論※ 言語学概論※ 日本語教育学特講A 日本語教育学特講C
兼任	准教授	ヒサキ 吉隆 日高 吉隆 (52) <平成31年4月> 学術修士	日本語教材研究Ⅰ※ 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※ 日本語教育実習
兼任	准教授	トモト 比呂子 富岡 比呂子 (44) <平成30年4月> Ph.D. in Education (米国)	創価教育論※
兼任	准教授	ドウキ 堂前 豊 (57) <平成30年4月> 経済学士※	自立学習入門※ 経済学※ 数学基礎※
兼任	准教授	ヤマザキ 山崎 勝 (56) <平成30年4月> 経済学修士※	自立学習入門※ 地域研究A 共通総合演習
兼任	准教授	ヒロ 重 秀勝 重 秀勝 (47) <平成31年4月> 学校教育学博士	音楽
兼任	准教授	ヤマノ リョウ 山田 隆司 (55) <平成30年4月> 博士(法学)	日本国憲法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	77ガ イ ヒツ 天谷 永 (61) <平成30年4月> Ph.D. in Economics (米国)	統計学入門※
兼任	教授	77ト リウ 有里 典三 (64) <平成30年4月> 文学修士	自立学習入門※ 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ 共通総合演習 卒業研究B(社会学) 社会調査の基礎 社会学概論 地域と都市の社会学
兼任	教授	ヤマシ 妙子 山本 忠行 (63) <平成30年4月> 文学修士	自立学習入門※ 日本語教育概論※ 言語学概論※ 日本語教育学特講A 日本語教育学特講C
兼任	准教授	ヒサキ 吉隆 日高 吉隆 (53) <平成31年4月> 学術修士	日本語教材研究Ⅰ※ 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※ 日本語教育実習
兼任	准教授	トモト 比呂子 富岡 比呂子 (45) <平成30年4月> Ph.D. in Education (米国)	創価教育論※
兼任	准教授	ドウキ 堂前 豊 (58) <平成30年4月> 経済学士※	自立学習入門※ 経済学※ 数学基礎※ 共通総合演習
兼任	准教授	ヤマザキ 山崎 勝 (57) <平成30年4月> 経済学修士※	自立学習入門※ 地域研究A 共通総合演習
兼任	講師	シロノ 櫻井 孝雄 (66) <平成31年4月> 経済学士	共通総合演習
兼任	講師	ヒラノ 原 武彦 (64) <平成31年4月> 修士(教育学)	共通総合演習
兼任	准教授	ヒロ 重 秀勝 重 秀勝 (48) <平成31年4月> 学校教育学博士	音楽
兼任	教授	ヤマノ リョウ 山田 隆司 (56) <平成30年4月> 博士(法学)	日本国憲法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中田 大悟 (43) <平成30年4月> 博士(経済学)
		統計学入門※
兼任	准教授	前田 幸男 (42) <平成31年4月> 博士(学術)
		政治学
兼任	准教授	碓井 健寛 (43) <平成30年4月> 博士(経済学)
		統計学入門※
兼任	准教授	前川 健一 (48) <平成31年4月> 博士(経済学)
		日本思想史Ⅰ 日本思想史Ⅱ 卒業研究B(哲学・歴史学)
兼任	准教授	加納 直幸 (59) <平成30年4月> 経済学修士
		人間教育論※ 自立学習入門※ 経済学※ 地域研究C
兼任	准教授	松森 秀幸 (38) <平成30年4月> 博士(人文学)
		卒業研究AⅡ(哲学・歴史学)※ 哲学・思想への招待※ 仏教思想概論 宗教学 東洋思想史
兼任	准教授	平井 康雄 (58) <平成30年4月> 文学修士
		自立学習入門※
兼任	准教授	Daniel Hiroshi Sasaki (41) <平成31年4月> Master of Arts in Second and Foreign Language Education (米園)
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼任	講師	坂口 貴弘 (37) <平成30年4月> 博士(アーカイブス学)
		創価教育論※
兼任	講師	黄 國光 (59) <平成30年4月> 博士(工学)
		自立学習入門※ コンピュータ・リテラシー プログラミング 共通総合演習
兼任	講師	開沼 正 (54) <平成30年4月> 博士(文学)
		自立学習入門※ 歴史※
兼任	講師	David Malcolm Daugherty (52) <平成31年4月> Master of Arts in Second and Foreign Language Education (米園)
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼任	講師	John James Bankier (36) <平成31年4月> Master of Science in Education (米園)
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中田 大悟 (44) <平成30年4月> 博士(経済学)
		統計学入門※
兼任	准教授	前田 幸男 (43) <平成31年4月> 博士(学術)
		政治学
兼任	教授	碓井 健寛 (44) <平成30年4月> 博士(経済学)
		統計学入門※
兼任	准教授	前川 健一 (49) <平成31年4月> 博士(経済学)
		日本思想史Ⅰ 日本思想史Ⅱ 卒業研究B(哲学・歴史学)
兼任	准教授	加納 直幸 (60) <平成30年4月> 経済学修士
		人間教育論※ 自立学習入門※ 経済学※ 地域研究C 共通総合演習
兼任	准教授	松森 秀幸 (39) <平成30年4月> 博士(人文学)
		卒業研究AⅡ(哲学・歴史学)※ 哲学・思想への招待※ 仏教思想概論 宗教学 東洋思想史
兼任	准教授	平井 康章 (59) <平成30年4月> 文学修士
		自立学習入門※ 共通総合演習
兼任	准教授	Daniel Hiroshi Sasaki (42) <平成31年4月> Master of Arts in Second and Foreign Language Education (米園)
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼任	講師	坂口 貴弘 (38) <平成30年4月> 博士(アーカイブス学)
		創価教育論※
兼任	講師	黄 國光 (60) <平成30年4月> 博士(工学)
		自立学習入門※ 共通総合演習
兼任	講師	開沼 正 (55) <平成30年4月> 博士(文学)
		自立学習入門※ 歴史※
兼任	講師	David Malcolm Daugherty (53) <平成31年4月> Master of Arts in Second and Foreign Language Education (米園)
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼任	講師	John James Bankier (37) <平成31年4月> Master of Science in Education (米園)
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	前田 幸男 (44) <平成31年4月> 博士(学術)
		政治学
兼任	教授	碓井 健寛 (45) <平成30年4月> 博士(経済学)
		統計学入門※
兼任	教授	前川 健一 (50) <平成31年4月> 博士(経済学)
		日本思想史Ⅰ 日本思想史Ⅱ 卒業研究B(哲学・歴史学)
兼任	准教授	加納 直幸 (61) <平成30年4月> 経済学修士
		人間教育論※ 自立学習入門※ 経済学※ 地域研究C 共通総合演習
兼任	准教授	松森 秀幸 (40) <平成30年4月> 博士(人文学)
		卒業研究AⅡ(哲学・歴史学)※ 哲学・思想への招待※ 仏教思想概論 宗教学 東洋思想史
兼任	准教授	平井 康雄 (60) <平成30年4月> 文学修士
		自立学習入門※ 共通総合演習
兼任	准教授	Daniel Hiroshi Sasaki (43) <平成31年4月> Master of Arts in Second and Foreign Language Education (米園)
		英会話Ⅰ
兼任	講師	坂口 貴弘 (39) <平成30年4月> 博士(アーカイブス学)
		創価教育論※
兼任	講師	黄 國光 (61) <平成30年4月> 博士(工学)
		自立学習入門※ 共通総合演習
兼任	講師	開沼 正 (56) <平成30年4月> 博士(文学)
		自立学習入門※ 歴史※
兼任	講師	David Malcolm Daugherty (54) <平成31年4月> Master of Arts in Second and Foreign Language Education (米園)
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	スティーブン・ジーン・モガン Steven Gene Morgan (62) <平成31年4月> Doctor of Philosophy in Arts & Sciences (米国)
		英会話 I 英会話 II
兼任	講師	トウ・ダツ 戸田 大樹 (34) <平成31年4月> 修士(児童学)
		教育学
兼任	助教	ヤマモト ミキ 山本 美紀 (33) <平成30年4月> 博士(人文学)
		文学 A
兼任	助教	ミヤハラ 千枝 宮原 千枝 (29) <平成31年4月> 修士(教育学)
		日本語コミュニケーション論
兼任	講師	ヒロサキ 美香代 日坂 美香代 (44) <平成32年4月> 学士(文学)
		日本語教育学特講B
兼任	講師	ナカノ 一 沖 廣一 (67) <平成31年4月> 修士(法学)
		日本語音声学
兼任	講師	ヤナギ 正広 柳沼 正広 (44) <平成31年4月> 博士(人文学)
		倫理学 倫理学概論
兼任	講師	クニヤマ 宏一 久山 宏一 (56) <平成31年4月> 博士(スラヴ文学)
		東欧の歴史と文化 映画論
兼任	講師	アキタ 恵美子 秋田 恵美子 (59) <平成31年4月> 教育学修士
		言語学概論※ 日本語教授法 II
兼任	講師	イノエ 敬子 井上 敬子 (63) <平成31年4月> 文学修士
		日本語の表現
兼任	講師	ワタナベ 大地 渡辺 大地 (45) <平成31年4月> 修士(文学)※
		倫理学 科学哲学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	スティーブン・ジーン・モガン Steven Gene Morgan (63) <平成31年4月> Doctor of Philosophy in Arts & Sciences (米国)
		英会話 I 英会話 II
兼任	講師	トウ・ダツ 戸田 大樹 (35) <平成31年4月> 修士(児童学)
		教育学
兼任	講師	シミズ 百合香 清水 百合香 (58) <平成30年4月> 修士(家政学)
		共通総合演習
兼任	助教	ヤマモト ミキ 山本 美紀 (34) <平成30年4月> 博士(人文学)
		文学 A
兼任	助教	ミヤハラ 千枝 宮原 千枝 (30) <平成31年4月> 修士(教育学)
		日本語コミュニケーション論
兼任	講師	ヒロサキ 美香代 日坂 美香代 (45) <平成32年4月> 学士(文学)
		日本語教育学特講B
兼任	講師	ナカノ 一 沖 廣一 (68) <平成31年4月> 修士(法学)
		日本語音声学
兼任	講師	ヤナギ 正広 柳沼 正広 (45) <平成31年4月> 博士(人文学)
		倫理学 倫理学概論
兼任	講師	クニヤマ 宏一 久山 宏一 (57) <平成31年4月> 博士(スラヴ文学)
		東欧の歴史と文化 映画論
兼任	講師	アキタ 恵美子 秋田 恵美子 (60) <平成31年4月> 教育学修士
		言語学概論※ 日本語教授法 II
兼任	講師	イノエ 敬子 井上 敬子 (64) <平成31年4月> 文学修士
		日本語の表現
兼任	講師	ワタナベ 大地 渡辺 大地 (46) <平成31年4月> 修士(文学)※
		倫理学 科学哲学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ボリック・ジョナサン BOLICK Jonathan (63) <平成31年4月> Master of Arts in TESOL (米国)
		英会話 I
兼任	講師	スティーブン・ジーン・モガン Steven Gene Morgan (64) <平成31年4月> Doctor of Philosophy in Arts & Sciences (米国)
		英会話 I
兼任	講師	ジョン・ジャmes・バンキア John James Bankier (47) <平成31年4月> MA TESOL, Lancaster University (英国)
		英会話 II
兼任	講師	トウ・ダツ 戸田 大樹 (36) <平成31年4月> 修士(児童学)
		教育学
兼任	講師	シミズ 百合香 清水 百合香 (59) <平成30年4月> 修士(家政学)
		共通総合演習
兼任	講師	ヤマモト ミキ 山本 美紀 (35) <平成30年4月> 博士(人文学)
		文学 A
兼任	助教	ミヤハラ 千枝 宮原 千枝 (31) <平成31年4月> 修士(教育学)
		日本語コミュニケーション論
兼任	准教授	イノエ 敬子 井上 敬子 (64) <平成31年4月> 文学学士
		中国語 I
兼任	講師	ヒロサキ 美香代 日坂 美香代 (46) <平成32年4月> 学士(文学)
		日本語教育学特講B
兼任	講師	ナカノ 一 沖 廣一 (69) <平成31年4月> 修士(法学)
		日本語音声学
兼任	講師	ヤナギ 正広 柳沼 正広 (46) <平成31年4月> 博士(人文学)
		倫理学 倫理学概論
兼任	講師	クニヤマ 宏一 久山 宏一 (58) <平成31年4月> 博士(スラヴ文学)
		東欧の歴史と文化 映画論
兼任	講師	アキタ 恵美子 秋田 恵美子 (61) <平成31年4月> 教育学修士
		言語学概論※ 日本語教授法 II
兼任	講師	イノエ 敬子 井上 敬子 (65) <平成31年4月> 文学修士
		日本語の表現
兼任	講師	ワタナベ 大地 渡辺 大地 (47) <平成31年4月> 修士(文学)※
		倫理学 科学哲学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中町 泰子 (51) <平成32年4月> 博士(歴史民俗資料学) 民俗学
兼任	講師	永本 哲也 (43) <平成30年4月> 博士(文学) 歴史学への招待※ 歴史学概論 西洋文化史
兼任	講師	斉藤 昭子 (45) <平成31年4月> 博士(学術) 日本文学史 日本古典文学作家作品論
兼任	講師	河野 哲宏 (33) <平成31年4月> 博士(文学) 中国文学Ⅰ 中国文学Ⅱ 漢文学特講Ⅰ 漢文学特講Ⅱ
兼任	講師	居坂 慎子 (33) <平成32年4月> 修士(学術)※ 中央ユーラシア史
兼任	講師	大原 信正 (34) <平成32年4月> 博士(史学) 東洋文化史
兼任	講師	中谷 聡 (43) <平成31年4月> 修士(新聞学)※ ジャーナリズムの社会学
兼任	講師	法真 寿子 (56) <平成30年4月> 経済学修士 日本語教育概論※ 日本語教材研究Ⅰ※ 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※ 日本語教育実習
兼任	講師	村上 政彦 (58) <平成30年4月> 高等学校卒(大学中退) 表現文化論入門※ 文学研究法入門Ⅰ※ 文学研究法入門Ⅱ※
兼任	講師	平良 直 (52) <平成31年4月> 博士(学術) 宗敎社会学 現代宗敎の社会学
兼任	講師	上川 多恵子 (32) <平成31年4月> 修士(言語教育情報学) 日本語教材研究Ⅰ※
兼任	講師	東田 明希子 (38) <平成31年4月> 修士(日本語教育学) 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※
兼任	講師	萩原 陽子 (31) <平成32年4月> 学士(経営学) 日本語教授法Ⅰ
兼任	講師	田村 正孝 (40) <平成32年4月> 博士(文学) 古文書学
兼任	講師	栗原 淑江 (65) <平成30年4月> 博士(社会学) 人間教育論※ 総合科目B 世界文学への招待※ ジェンダーの社会学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中町 泰子 (51) <平成32年4月> 博士(歴史民俗資料学) 民俗学
兼任	講師	永本 哲也 (44) <平成30年4月> 博士(文学) 歴史学への招待※ 歴史学概論 西洋文化史
兼任	講師	斉藤 昭子 (46) <平成31年4月> 博士(学術) 日本文学史 日本古典文学作家作品論
兼任	講師	河野 哲宏 (34) <平成31年4月> 博士(文学) 中国文学Ⅰ 中国文学Ⅱ 漢文学特講Ⅰ 漢文学特講Ⅱ
兼任	講師	居坂 慎子 (34) <平成32年4月> 修士(学術)※ 中央ユーラシア史
兼任	講師	大原 信正 (35) <平成32年4月> 博士(史学) 東洋文化史
兼任	講師	中谷 聡 (44) <平成31年4月> 修士(新聞学)※ ジャーナリズムの社会学
兼任	准教授	法真 寿子 (57) <平成30年4月> 経済学修士 日本語教育概論※ 日本語教材研究Ⅰ※ 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※ 日本語教育実習
兼任	講師	村上 政彦 (59) <平成30年4月> 高等学校卒(大学中退) 表現文化論入門※ 文学研究法入門Ⅰ※ 文学研究法入門Ⅱ※
兼任	講師	平良 直 (53) <平成31年4月> 博士(学術) 宗敎社会学 現代宗敎の社会学
兼任	講師	上川 多恵子 (33) <平成31年4月> 修士(言語教育情報学) 日本語教材研究Ⅰ※
兼任	講師	東田 明希子 (39) <平成31年4月> 修士(日本語教育学) 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※
兼任	講師	萩原 陽子 (32) <平成32年4月> 学士(経営学) 日本語教授法Ⅰ
兼任	講師	田村 正孝 (41) <平成32年4月> 博士(文学) 古文書学
兼任	講師	栗原 淑江 (66) <平成30年4月> 博士(社会学) 人間教育論※ 総合科目B 世界文学への招待※ ジェンダーの社会学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中町 泰子 (52) <平成32年4月> 博士(歴史民俗資料学) 民俗学
兼任	講師	永本 哲也 (45) <平成30年4月> 博士(文学) 歴史学への招待※ 歴史学概論 西洋文化史
兼任	講師	斉藤 昭子 (47) <平成31年4月> 博士(学術) 日本文学史 日本古典文学作家作品論
兼任	講師	河野 哲宏 (35) <平成31年4月> 博士(文学) 中国文学Ⅰ 中国文学Ⅱ 漢文学特講Ⅰ 漢文学特講Ⅱ
兼任	講師	居坂 慎子 (35) <平成32年4月> 修士(学術)※ 中央ユーラシア史
兼任	講師	大原 信正 (36) <平成32年4月> 博士(史学) 東洋文化史
兼任	講師	中谷 聡 (45) <平成31年4月> 修士(新聞学)※ ジャーナリズムの社会学
兼任	准教授	法真 寿子 (58) <平成30年4月> 経済学修士 日本語教育概論※ 日本語教材研究Ⅰ※ 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※ 日本語教育実習
兼任	講師	村上 政彦 (60) <平成30年4月> 高等学校卒(大学中退) 表現文化論入門※ 文学研究法入門Ⅰ※ 文学研究法入門Ⅱ※
兼任	講師	平良 直 (54) <平成31年4月> 博士(学術) 宗敎社会学 現代宗敎の社会学
兼任	講師	上川 多恵子 (34) <平成31年4月> 修士(言語教育情報学) 日本語教材研究Ⅰ※
兼任	講師	東田 明希子 (40) <平成31年4月> 修士(日本語教育学) 日本語教材研究Ⅱ※ 日本語教授法演習※
兼任	講師	萩原 陽子 (33) <平成32年4月> 学士(経営学) 日本語教授法Ⅰ
兼任	講師	田村 正孝 (42) <平成32年4月> 博士(文学) 古文書学
兼任	講師	栗原 淑江 (67) <平成30年4月> 博士(社会学) 人間教育論※ 総合科目B 世界文学への招待※ ジェンダーの社会学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	材かみ 妙子 大上 忠幸 (45) <平成31年4月> 博士(教育学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 異文化コミュニケーション 入門 対照言語学
兼任	講師	ヤマシキ 達也 (59) <平成30年4月> 博士(文学)	哲学 西洋哲学史Ⅰ 西洋哲学史Ⅱ
兼任	講師	ワカミ 光司 (58) <平成31年4月> 文学修士※	西洋史概説Ⅰ 西洋史概説Ⅱ
兼任	講師	トヨコ 友里子 (30) <平成30年4月> 修士(文学)	考古学概論
兼任	講師	タケノ 亜希子 (44) <平成30年4月> 修士(英文学)	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	講師	ノボリ 敏行 (41) <平成30年4月> 修士(英文学)	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡB
兼任	講師	タケノ 高剛 (69) <平成30年4月> 修士(文学)※	英語ⅠB
兼任	講師	スズキ 光晴 (36) <平成30年4月> 修士(文学)※	英語ⅠB
兼任	講師	オオキ 恵理華 (45) <平成30年4月> 修士(文学)※	英語ⅠB
兼任	講師	スズキ 法子 (33) <平成30年4月> 修士(英文学)※	英語ⅠB 英語ⅡB
兼任	講師	ミヤギ 紗か 宮崎 さやか (35) <平成31年4月> 修士(英文学)※	英語ⅡB
兼任	講師	デルバート カン Delbert Kern (68) <平成31年4月> Master of Education in TESOL (米園)	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼任	講師	イケガキ 博 池川 博 (69) <平成31年4月> 文学士	ドイツ語A ドイツ語B
兼任	講師	オムリ 能里子 岡村 能里子 (67) <平成31年4月> 修士(フランス語)	フランス語A フランス語B
兼任	講師	オノ 紗 對 暁 (49) <平成31年4月> 修士(教育学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	材かみ 妙子 大上 忠幸 (45) <平成31年4月> 博士(教育学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 異文化コミュニケーション 入門 対照言語学
兼任	講師	ヤマシキ 達也 (60) <平成30年4月> 博士(文学)	哲学 西洋哲学史Ⅰ 西洋哲学史Ⅱ
兼任	講師	ワカミ 光司 (59) <平成31年4月> 文学修士※	西洋史概説Ⅰ 西洋史概説Ⅱ
兼任	講師	トヨコ 友里子 (31) <平成30年4月> 修士(文学)	考古学概論
兼任	講師	タケノ 亜希子 (45) <平成30年4月> 修士(英文学)	英語ⅠA 英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	講師	ノボリ 敏行 (42) <平成30年4月> 修士(英文学)	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡB
兼任	講師	タケノ 高剛 (70) <平成30年4月> 修士(文学)※	英語ⅠB
兼任	講師	スズキ 光晴 (37) <平成30年4月> 修士(文学)※	英語ⅠB
兼任	講師	オオキ 恵理華 (46) <平成30年4月> 修士(文学)※	英語ⅠB
兼任	講師	スズキ 法子 (34) <平成30年4月> 修士(英文学)※	英語ⅠB 英語ⅡB
兼任	講師	ミヤギ 紗か 宮崎 さやか (36) <平成31年4月> 修士(英文学)※	英語ⅡB
兼任	講師	デルバート カン Delbert Kern (69) <平成31年4月> Master of Education in TESOL (米園)	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼任	講師	イケガキ 博 池川 博 (70) <平成31年4月> 文学士	ドイツ語A ドイツ語B
兼任	講師	オムリ 能里子 岡村 能里子 (68) <平成31年4月> 修士(フランス語)	フランス語A フランス語B
兼任	講師	オノ 紗 對 暁 (50) <平成31年4月> 修士(教育学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	材かみ 妙子 大上 忠幸 (47) <平成31年4月> 博士(教育学)	異文化コミュニケーション 入門 対照言語学 日本語文法Ⅱ
兼任	講師	ヤマシキ 達也 (61) <平成30年4月> 博士(文学)	哲学 西洋哲学史Ⅰ 西洋哲学史Ⅱ
兼任	講師	ワカミ 光司 (60) <平成31年4月> 文学修士※	西洋史概説Ⅰ 西洋史概説Ⅱ
兼任	講師	トヨコ 友里子 (32) <平成30年4月> 修士(文学)	考古学概論
兼任	講師	タケノ 亜希子 (46) <平成30年4月> 修士(英文学)	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA
兼任	講師	ノボリ 敏行 (43) <平成30年4月> 修士(英文学)	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡB
兼任	講師	タケノ 高剛 (71) <平成30年4月> 修士(文学)※	英語ⅠB
兼任	講師	スズキ 光晴 (38) <平成30年4月> 修士(文学)※	英語ⅠB
兼任	講師	オオキ 恵理華 (47) <平成30年4月> 修士(文学)※	英語ⅠB
兼任	講師	スズキ 法子 (35) <平成30年4月> 修士(英文学)※	英語ⅠB 英語ⅡB
兼任	講師	ミヤギ 紗か 宮崎 さやか (37) <平成31年4月> 修士(英文学)※	英語ⅡB
兼任	講師	デルバート カン Delbert Kern (70) <平成31年4月> Master of Education in TESOL (米園)	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼任	講師	イケガキ 博 池川 博 (70) <平成31年4月> 文学士	ドイツ語A ドイツ語B
兼任	講師	オムリ 能里子 岡村 能里子 (69) <平成31年4月> 修士(フランス語)	フランス語A フランス語B
兼任	講師	オノ 紗 對 暁 (51) <平成31年4月> 修士(教育学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	ソト メリ マリア イリナ SOTO MEJIA MARIA IRINA (32) <平成31年4月> Master in Spanish (米国)	スペイン語B
兼任	講師	ベウ クウジヨウ 白 恩正 (43) <平成31年4月> 博士(社会学)	ハンゲル I ハンゲル II
兼任	講師	チヤウ コキ 町田 小雪 (52) <平成31年4月> 文学修士(韓国)※	ハンゲル I ハンゲル II
兼任	講師	オオキヨウ 由紀夫 大塚 由紀夫 (65) <平成31年4月> 学士(音楽)	音楽
兼任	講師	ササキ アキコ 佐久間 愛子 (36) <平成31年4月> 修士(芸術学)	美術
兼任	講師	ミヤカ シンイチ 宮川 真一 (49) <平成31年4月> 博士(社会学)	社会学 I
兼任	講師	フジノ カツシ 藤岡 祐次郎 (61) <平成31年4月> 法学修士※	政治学
兼任	講師	イ フジヨウ 李 和貞 (44) <平成30年4月> 修士(人文)※	心理学※
兼任	講師	ヤマガチ カズ 山口 勝己 (68) <平成30年4月> 教育学修士	心理学※
兼任	講師	エドムシ ミホ 遠藤 美純 (46) <平成31年4月> 修士(社会学)※	コンピュータ・リテラシー プログラミング
兼任	講師	ヨシイ タカシ 横井 隆志 (36) <平成31年4月> 修士(大学アドミニスト レーション)※	コンピュータ・リテラシー プログラミング
兼任	講師	フカイ アキコ 福井 明子 (39) <平成31年4月> 博士(農学)	環境科学
兼任	講師	コバシ マサヒコ 小林 正博 (66) <平成31年4月> 博士(文学)	歴史※
兼任	講師	ホンマ シズコ 本間 佳子 (57) <平成30年4月> 法学修士	総合科目 A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	ソト メリ マリア イリナ SOTO MEJIA MARIA IRINA (33) <平成31年4月> Master in Spanish (米国)	スペイン語B
兼任	講師	ベウ クウジヨウ 白 恩正 (44) <平成31年4月> 博士(社会学)	ハンゲル I ハンゲル II
兼任	講師	チヤウ コキ 町田 小雪 (53) <平成31年4月> 文学修士(韓国)※	ハンゲル I ハンゲル II
兼任	講師	オオキヨウ 由紀夫 大塚 由紀夫 (66) <平成31年4月> 学士(音楽)	音楽
兼任	講師		
兼任	講師	ミヤカ シンイチ 宮川 真一 (50) <平成31年4月> 博士(社会学)	社会学 I
兼任	講師	フジノ カツシ 藤岡 祐次郎 (62) <平成31年4月> 法学修士※	政治学
兼任	講師	イ フジヨウ 李 和貞 (45) <平成30年4月> 修士(人文)※	心理学※
兼任	講師	ヤマガチ カズ 山口 勝己 (69) <平成30年4月> 教育学修士	心理学※
兼任	講師	エドムシ ミホ 遠藤 美純 (47) <平成31年4月> 修士(社会学)※	コンピュータ・リテラシー プログラミング
兼任	講師	ヨシイ タカシ 横井 隆志 (37) <平成31年4月> 修士(大学アドミニスト レーション)※	コンピュータ・リテラシー プログラミング
兼任	講師	フカイ アキコ 福井 明子 (40) <平成31年4月> 博士(農学)	環境科学
兼任	講師	コバシ マサヒコ 小林 正博 (67) <平成31年4月> 博士(文学)	歴史※
兼任	講師		
兼任	講師	ホンマ シズコ 本間 佳子 (58) <平成30年4月> 法学修士	総合科目 A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	ソト メリ マリア イリナ SOTO MEJIA MARIA IRINA (34) <平成31年4月> Master in Spanish (米国)	スペイン語B
兼任	講師	ベウ クウジヨウ 白 恩正 (45) <平成31年4月> 博士(社会学)	ハンゲル I ハンゲル II
兼任	講師	チヤウ コキ 町田 小雪 (54) <平成31年4月> 文学修士(韓国)※	ハンゲル I ハンゲル II
兼任	講師	オオキヨウ 由紀夫 大塚 由紀夫 (67) <平成31年4月> 学士(音楽)	音楽
兼任	講師		
兼任	講師	ミヤカ シンイチ 宮川 真一 (51) <平成31年4月> 博士(社会学)	社会学 I
兼任	講師	フジノ カツシ 藤岡 祐次郎 (63) <平成31年4月> 法学修士※	政治学
兼任	講師	イ フジヨウ 李 和貞 (46) <平成30年4月> 修士(人文)※	心理学※
兼任	講師	ヤマガチ カズ 山口 勝己 (70) <平成30年4月> 教育学修士	心理学※
兼任	講師	エドムシ ミホ 遠藤 美純 (48) <平成31年4月> 修士(社会学)※	コンピュータ・リテラシー プログラミング
兼任	講師	ヨシイ タカシ 横井 隆志 (38) <平成31年4月> 修士(大学アドミニスト レーション)※	コンピュータ・リテラシー プログラミング
兼任	講師	ヨシタ マサトシ 吉田 勝郎 (34) <平成31年4月> 修士(工学)	コンピュータ・リテラシー
兼任	講師	フカイ アキコ 福井 明子 (41) <平成31年4月> 博士(農学)	環境科学
兼任	講師	コバシ マサヒコ 小林 正博 (68) <平成31年4月> 博士(文学)	歴史※
兼任	講師	ホンマ シズコ 小倉 裕規 (66) <平成31年4月> 社会学修士	歴史※
兼任	講師	ホンマ シズコ 本間 佳子 (59) <平成30年4月> 法学修士	総合科目 A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	イワキ ユウヤ 岩木 勇作 (35) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	イワキ ユウヤ 岩木 勇作 (36) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	イワキ ユウヤ 岩木 勇作 (37) <平成30年4月> 修士(教育学)
		創価教育論※			創価教育論※			創価教育論※
兼任	講師	ネムリ マサヒ 根本 正史 (61) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	講師	ネムリ マサヒ 根本 正史 (62) <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	講師	ネムリ マサヒ 根本 正史 (63) <平成30年4月> 博士(医学)
		生命科学			生命科学			生命科学
兼任	講師	アレクサンダー・チャーンスайд Alexander Chirnside (61) <平成31年4月> Master of Education in Educational Technology and TESOL (米園)	兼任	講師	アレクサンダー・チャーンスайд Alexander Chirnside (62) <平成31年4月> Master of Education in Educational Technology and TESOL (米園)	兼任	講師	アレクサンダー・チャーンスайд Alexander Chirnside (63) <平成31年4月> Master of Education in Educational Technology and TESOL (米園)
		英会話 I 英会話 II			英会話 I 英会話 II			英会話 I 英会話 II
兼任	講師	カハワ ミコ 川辺 妙子 (34) <平成30年4月> Master of Arts (Comparative Literature) (79161) ※						
		英語 I B						
兼任	講師	クマタ ヨシコ 熊田 岐子 (40) <平成30年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	クマタ ヨシコ 熊田 岐子 (41) <平成30年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	クマタ ヨシコ 熊田 岐子 (42) <平成30年4月> 博士(教育学)
		英語 I B			英語 I B			英語 I B
兼任	講師	タカミ マサル 田中 光晴 (35) <平成31年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	タカミ マサル 田中 光晴 (36) <平成31年4月> 博士(教育学)			
		ハンブル II			ハンブル II			
兼任	講師	ウマノ シゲキ 馬場 茂樹 (70) <平成31年4月> 社会学修士	兼任	講師	ウマノ シゲキ 馬場 茂樹 (71) <平成31年4月> 社会学修士			
		家族の社会学			家族の社会学			
						兼任	講師	サトウ ジュンコ 佐藤 順子 (43) <平成31年4月> 博士(社会学)
								家族の社会学
兼任	講師	ワタナベ ヒロユキ 和田 光一 (67) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	ワタナベ ヒロユキ 和田 光一 (68) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	ワタナベ ヒロユキ 和田 光一 (69) <平成31年4月> 文学修士
		児童福祉論			児童福祉論			児童福祉論
			兼任	講師	ウエダ サカエ 上田 栄和 (35) <平成30年4月> 博士(法学)	兼任	講師	ウエダ サカエ 上田 栄和 (36) <平成30年4月> 博士(法学)
					日本国憲法			日本国憲法
			兼任	講師	タカタ ユミ 高田 裕美 (42) <平成30年4月> 修士(文学)			
					心理学※			
			兼任	講師	タカタ シュンイチ 鷹尾 俊一 (68) <平成31年4月> 高等学校卒(大学中退)	兼任	講師	タカタ シュンイチ 鷹尾 俊一 (69) <平成31年4月> 高等学校卒(大学中退)
					美術			美術
						兼任	講師	エビノリ リサ 渡藤 幸華 (26) <平成31年4月> 修士(文学)
								日本語コミュニケーション論

- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・伊藤貴雄教授（専任）が体調不良で本人の負担軽減のため、創価教育論の担当を解除。創価教育論（オムニバス）は他に該当コマの担当教員が1名いるため支障なし。
- ・嵯峨林亮講師（兼任）が本人の負担軽減のため、創価教育論の担当を解除。創価教育論（オムニバス）は他に該当コマの担当教員が2名いるため支障なし。
- ・牛田伸一教授（兼任）が本人の負担軽減のため、創価教育論の担当を解除。創価教育論（オムニバス）は他に該当コマの担当教員が1名いるため支障なし。
- ・山本忠行教授（兼任）が本人の負担軽減のため、共通総合演習の担当を辞退。共通総合演習は、以下の通り、他の担当教員を追加し、8名の担当となるため支障なし。
- ・教育課程の充実を図るため、共通総合演習のスクーリング開講数を増やしたことより、山崎勝准教授（兼任）、加納直幸准教授（兼任）、平井康章准教授（兼任）、清水百合香講師（兼任）が追加で担当。
- ・内藤耕三准教授（兼任）が本人の負担軽減のため、体育講義Bの担当を解除。体育講義Bは、他に担当教員がいるため支障なし。
- ・碓井健寛准教授（兼任）が平成30年4月より教授に昇任。
- ・黄國光講師（兼任）が都合により、コンピュータリテラシーの担当を解除。コンピュータリテラシーは他に担当教員が3名いるため支障なし。
- ・黄國光講師（兼任）が都合により、プログラミングの担当を解除。プログラミングは他に担当教員が3名いるため支障なし。
- ・法貴寿子講師（兼任）が平成30年4月より准教授（兼任）に就任。
- ・武田亜希子講師（兼任）が都合により、英語I Bの担当を解除。英語I Bは他に担当教員が7名いるため支障なし。
- ・佐久間愛子講師（兼任）が都合により、美術の担当を辞退。辞退に伴い鷹尾俊一講師（兼任）を追加し、美術を担当（平成31年度就任）。
- ・川辺紗子講師（兼任）が都合により、英語I Bの担当を解除。英語I Bは他に担当教員が7名いるため支障なし。
- ・教育課程の充実を図るため、上田宏和講師（兼任）を追加し、日本国憲法を担当。
- ・教育課程の充実を図るため、高田裕美講師（兼任）を追加し、心理学を担当。
- ・寒河江教授、村上教授、渋谷教授の職位変更。平成30年8月教員審査済。

【令和元年度】

- ・坂本幹雄教授（兼任）がスクーリングの日程重複のため、自立学習入門の担当を解除。自立学習入門は他に担当教員が複数いるため支障なし。
- ・高橋強教授（専任）が負担軽減のため、自立学習入門の担当を解除。清水強志准教授（専任）を追加し担当、平成30年12月に教員審査済。
- ・武田亜希子講師（兼任）が英語II Bの受講者減少のため担当を解除し、英語I Bの担当を追加。英語I Bは他に担当教員が4名いるため支障なし。
- ・パンキアー講師（兼任）が都合により、英会話Iの担当を解除。ジョナサン・ポリック講師（兼任）を追加。
- ・パンキアー講師（兼任）、S・モーガン講師（兼任）、タニエル・ヒロシ・ササキ講師（兼任）が都合により、英会話IIの担当を解除。S・ブルース講師（兼任）を追加。
- ・池川博講師（兼任）が都合により、ドイツ語A、ドイツ語Bの担当を解除。受講者数少数のため、田中亮平教授（専任）のみで支障なし。
- ・大上忠幸講師（兼任）が都合により、中国語I、中国語IIの担当を解除。中国語Iは佐藤素子准教授（兼任）を追加。中国語IIは他に担当者が2名いるため支障なし。
- ・田中光晴講師（兼任）が都合により、ハングルIIの担当を解除。ハングルIIは他に担当者が3名いるため支障なし。
- ・教育課程の充実を図るため、小倉裕児講師（兼任）を追加し、歴史を担当。
- ・大塚正智教授（兼任）が都合により、経営学入門の担当を解除。安田賢憲准教授（兼任）を担当に追加。
- ・高田裕美講師（兼任）が都合により、心理学の担当を解除。心理学は他に担当者が3名いるため支障なし。
- ・中田大吾准教授（兼任）が都合により、統計学入門の担当を解除。統計学入門は他に担当者が5名いるため支障なし。
- ・遠藤美純講師（兼任）が都合により、コンピュータ・リテラシー、プログラミングの担当を解除。辞退に伴い、コンピュータ・リテラシーは吉田勝郎講師（兼任）を追加。プログラミングは他に担当者が2名いるため、支障なし。
- ・教育課程の充実を図るため、共通総合演習のスクーリング開講数を増やしたことより、堂前豊准教授（兼任）、櫻井啓雅講師（兼任）、宗像武彦講師（兼任）が追加で担当。
- ・前田幸男准教授（兼任）が平成31年4月より教授に昇任。
- ・山田隆司准教授（兼任）が平成31年4月より教授に昇任。
- ・前川健一准教授（兼任）が平成31年4月より教授に昇任。
- ・山本美紀助教（兼任）が平成31年4月より講師（兼任）に変更。
- ・宮原千咲助教（兼任）が都合により、日本語コミュニケーション論の担当を解除。遠藤李華講師（兼任）を担当に追加。
- ・馬場茂樹講師（兼任）が都合により、家族の社会学の担当を解除。佐藤順子講師（兼任）を担当に追加。
- ・教育課程の充実を図るため、大上忠幸講師（兼任）を追加し、日本語文法IIを担当。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
21 名	9 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
22	5	1	0	28	25	2	1	0	28
(22)	(5)	(1)	(0)	(28)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
25	2	1	0	28	25	2	1	0	28
[+3]	[Δ3]	[0]	[0]	[0]	[+3]	[Δ3]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
70 65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{28}{28} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{28} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (30年4月)	留意事項無し		
設置計画履行状況 調 査 時 (31年3月)	留意事項無し		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<文学部 人間学科（通信教育課程）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当無し	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教員の教育研究活動の向上を目的として不断に検討を行い、その改善、充実に図るために、ファカルティ・ディベロップメント委員会を置く。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

年間3～4回定期的に開催し、全学部長を含む委員15～16名は基本的に全員参加している。

c 委員会の審議事項等

授業内容及び改善の方策に関する事項、FD研修会及び講習会の開催に関する事項、学生による授業評価の実施・結果の分析及び利用に関する事項等

② 実施状況

a 実施内容

- ・全学的FDの取組目標の立案、取り組み、結果及び効果の分析
- ・教授法等に係るFDセミナー（年7～8回）及びFDフォーラム（年1回）の開催
- ・新任教員研修（年2回）の開催
- ・コンソーシアムや大学間連携による他大学との連携事業

b 実施方法

FD委員会にて協議・検討した計画に基づき、教育・学習支援センター（CETL）などの関連部門がFDに係るセミナー・研修等を運営する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FDセミナー（年7～8回）・FDフォーラム（年1回）・新任教員研修（年2回）等を定期開催し、75%以上の教員がそれらのイベントに参加している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修会やセミナーを通じ、ラーニング・アウトカムズの達成点検・到達目標の測定を意識した授業展開が促進され、LTD等のALの定着化が進展している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有（夏期スクーリングと秋期スクーリング、地方スクーリング（一部科目）の面接授業試験前）

b 教員や学生への公開状況、方法等

各科目のアンケート結果は、Web上の各科目のシラバス閲覧ページで公開している。
また、通信教育部事務室窓口でも閲覧が可能となっている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
- c 委員会の審議事項等
- d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
平成30年4月の文学部開設後、初年度に600名もの出願があり、引き続き今年度も約200名の出願があった。来年度は3年次編入の受け入れも開始されるため、今年度以上の出願者数が見込まれるが、今後も継続的な志願者確保を目指し、学部開設の目的である真の教養を兼ね備えた「創造的人間」の育成・輩出を目指す。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
- ・令和元年5月1日 公表
- b 公表方法
- ・大学ホームページ上に公開予定（令和元年5月を予定）
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・令和3年度に大学基準協会による評価を受ける予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和元年度）
- a ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 ・ 無 ）
- b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）
- b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。